

KODAK Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11

Black

3/Color

White

KODAK Color Control Patches

Blue

Black

3/Color

White

Red Magenta

Blue



表紙 4 L03001

式内神社考證宇治郡之部



冊次	冊數	番號	類別	架號
			式武登	
		七		

六





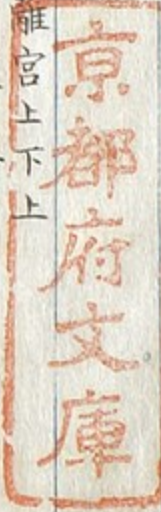
以上

宇治郡十座
宇治神社二座
許波多神社三座
宇治彼方神社

日向神社
天穗日命神社
山科神社二座

宇治郡式内十座

宇治神社考證久世郡宇治離宮上下上申書及繪圖ヲ後ニ附



宇治神社二座整鞞

宇治ハ假字ナリ

和名抄名假字同上

○祭神免道推郎子外一座不

詳惣國風土記殘缺云宇治神社圭田三十九束三字田所祭免道郎子也推古三年乙卯五月始奉圭田加神礼有神家巫戸等世称宇治八幡○日本紀菟道推郎子興宮於菟道而居之因曰宇治郡諸陵式云宇治墓菟道推郎皇子

在山城國宇治郡云々 ○山城志云在宇治馬場町称離宮有上下二座古事記傳云離宮ハ宇治神社也馬場町今久世郡ニ属シ宇治郡ノ内ニ合ス

扶桑略記云治曆三年十月五日庚戌天皇車駕幸臨宇治平等院七日壬子離宮明神授其位記山城記云治養二年十一月十二日奉使宇治離宮兵範記云仁平三年四月十五日去八日離宮御輿迎以後平等院三綱以下田樂為

京都府

本散樂為先宮風流保元二年五月八日壬申宇治離宮祭不被奉幣乘尻神馬等依亮暗年也

按スルニ離宮ノ祭神諸社根元記及盛衰記等ニ廢太子及民部卿忠文ノ靈ナリト云ヲ以近世其說ニ從ヒ

宇治神社ハ別社ナリトスルモノ多シ然ト雖モ是固ヨリ無證ノ說ニテ曾テ離宮ハ幡ト号スルヲ以テ之

ヲ推ハ祭神件ノ靈ニ非ス則風土記ニ世宇治八幡ト称トアルニ符合ス故ニ今山城志古事記傳等ニ從フ





Black

© Eastman Kodak Company, 1997

KODAK Color Control Patches

Blue

Cyan

Green

Yellow

Red

Magenta

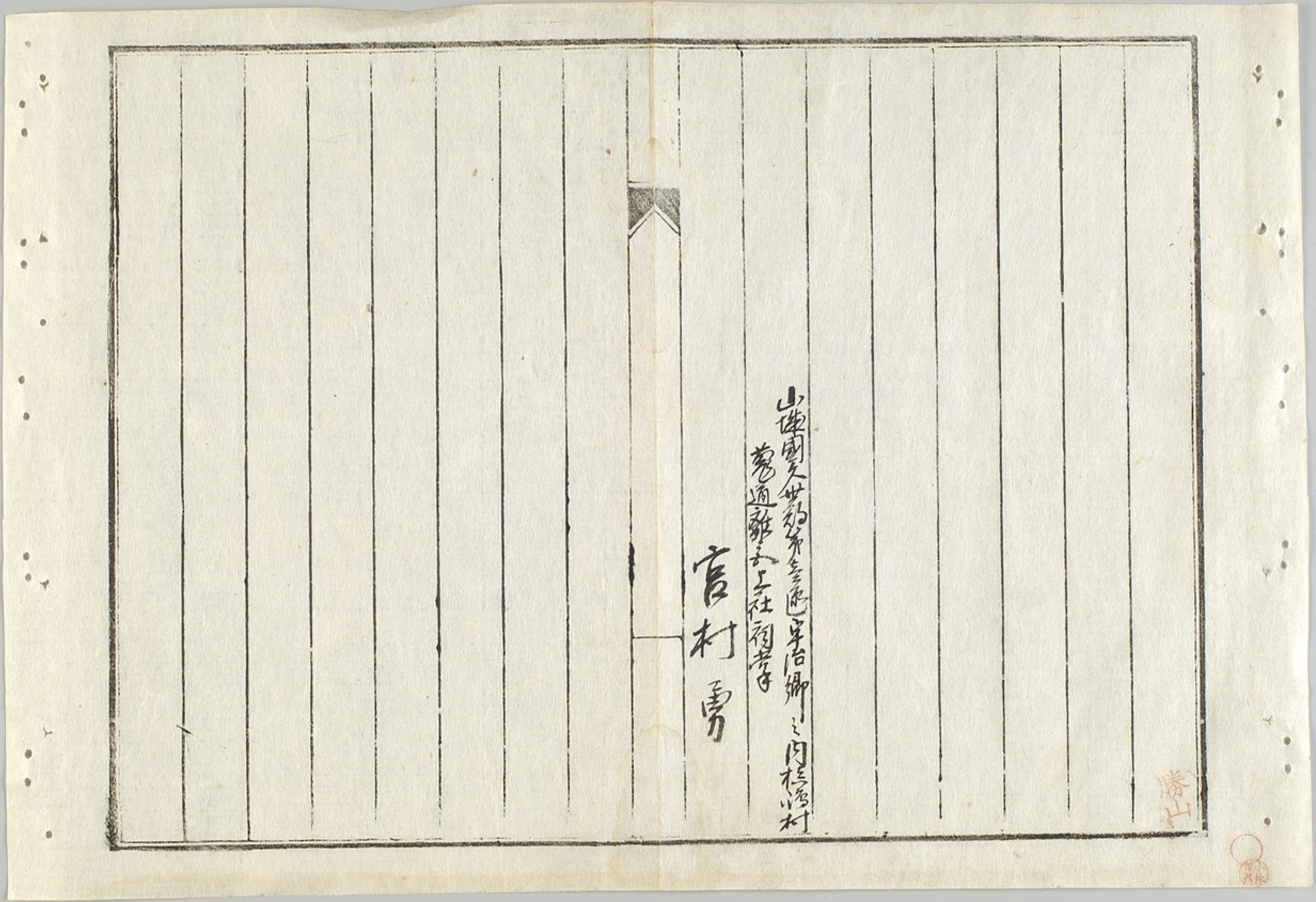
White

3/Color

Black



宇治神社2 4-1 L03004



官村勇

山田國文世為弟幸進早治郷之内松崎村
常道離六上社初孝子

勝上

京都府管下山城國久世郡第志區宇治郷

鎮座菟道離宮社

祭神

應神天皇
仁德天皇

相殿三座雅而子尊也
社名式曰宇治三座
額 此内三座是之

一 由緒

別紙有之

一 勸請

昌泰年中

一 例祭

舊曆十月八日
新曆六月八日法隆寺

一 社殿建坪

本社

坪数拾八坪

六間

并殿

日 拾八坪

三間

境内末社

春日社

坪数拾坪

三間

住吉社

同 拾坪

三間

香椎社

同

同上

嚴嶋社

同 拾坪

三間

稻荷社

同 拾坪

三間



神 庫 同 喜 坪 共 倉 間 四 天

水 洗 同 喜 坪 共 倉 喜 間 喜 天 五 寸

一 現在境内 装別 元 喜 及 丸 殿 分 南 西 北 後 右 間 馬 場 二 年 喜 分

一 舊 境 内 同 元 所 了 分 山 林 南 西 北 後 右 間

一 舊 社 領 朱 墨 印 本 喜 坪 共 倉 領

一 氏 子 百 口 千 俱 之 權 治 村 惣 氏 子 之 喜 坪 共 倉

右之通清彦後以上

京都府管下山城國京都第壹區宇治郡

宇治道齋宮大神

齋宮明神
齋宮大神
脊離之大宮
相承日祈宮

神位一位

宣旨

皇國御覽
西德三巳年

神樂

沙基
齋宮拜殿流御

齋宮神樂一基相双与社神概立舍神式年而後樂
格不之有回奉

奉禮

流古皆禱回
官幣使以在馬寮
右馬寮福為秋社馬例有

人皇六十六代醍醐天皇御宇延喜元年 山城

作 國司社領以道齋宮奉齋宮大神

宇治郡之大社道神奉齋宮大神領亦有之也

源義經宇治攻之後社人宅火之節書執

悉燒失信流古宇治松尾村之堂戶村大風自村惣

産道那那之記當時松尾村之惣産道那那神奉

何今奉經之事故有之流古仁後



右通河産儀以上

山崎園久世第壹通年産御之内
菟角羅天上社栲河村産原那林初幸子

宮村勇



明治庚午十月

久世那第壹通年産御之内
佐長方田岩方寅

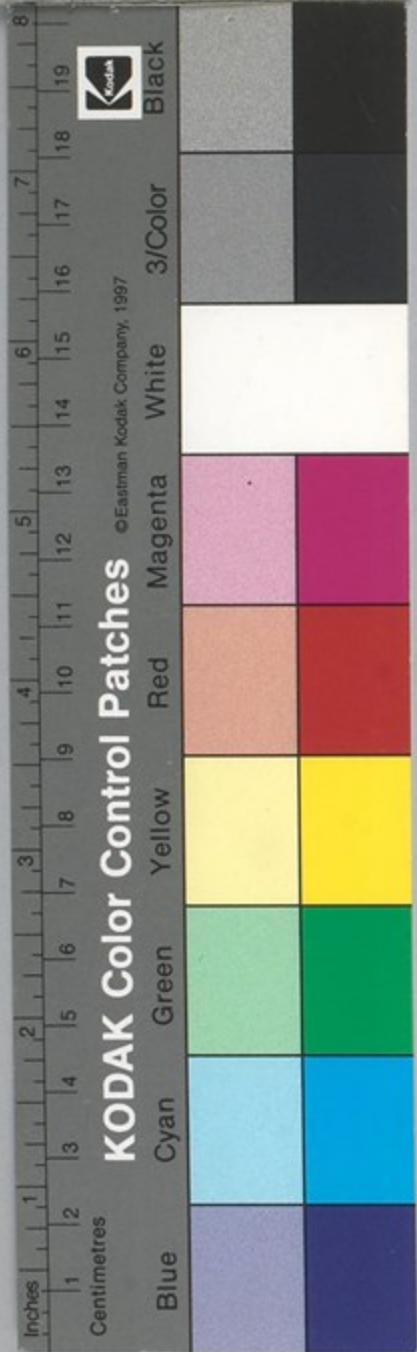


京都府権知事 榎村正直殿

©Eastman Kodak Company, 1977

KODAK Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10



久世郡宇治郷
 離宮上社之圖

北

田



離宮上社 4-1 C03001

山城國宇治離宮八幡大宮三社

一中、應神天皇右、仁德天皇左、菟道稚郎、

此尊離難波京宇治山、麓卜居御依之此山、垂

跡昌泰年中依神詫醍醐天皇延喜元年仰山

城之國司神殿以下被造宮奉崇 離宮八幡大宮

早則宇治模嶋三室戸大鳳寺四ヶ村之氏神也末社

等如古來有之

延喜元年、元祿五年、
延喜元年、元祿五年、
延喜元年、元祿五年、

一離宮八幡山

高百貳拾間
橫百六拾間

社鳥居之内境地
東西貳十五間半
南北貳十間

一本社

三間、六間

一末社

春日社

寺間、寺間半

住吉社

三尺、四尺

并戈天社

三尺、四尺

京都府

石清水社

三尺、四尺

藤原忠文社

三尺、四尺

地藏堂

貳間、四方

一拜殿

三間、九間

一御藏

貳間、四方

一御手洗

寺間、五尺、五寸、寺間半

一右社内山内住古、御除地、言、以、
社、

右今度京都河改國郡之内此外兼帶之神社佛閣

延喜元年、
社家

社家

元祿五年、中

宮村掃部頭

宗直

KODAK Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11

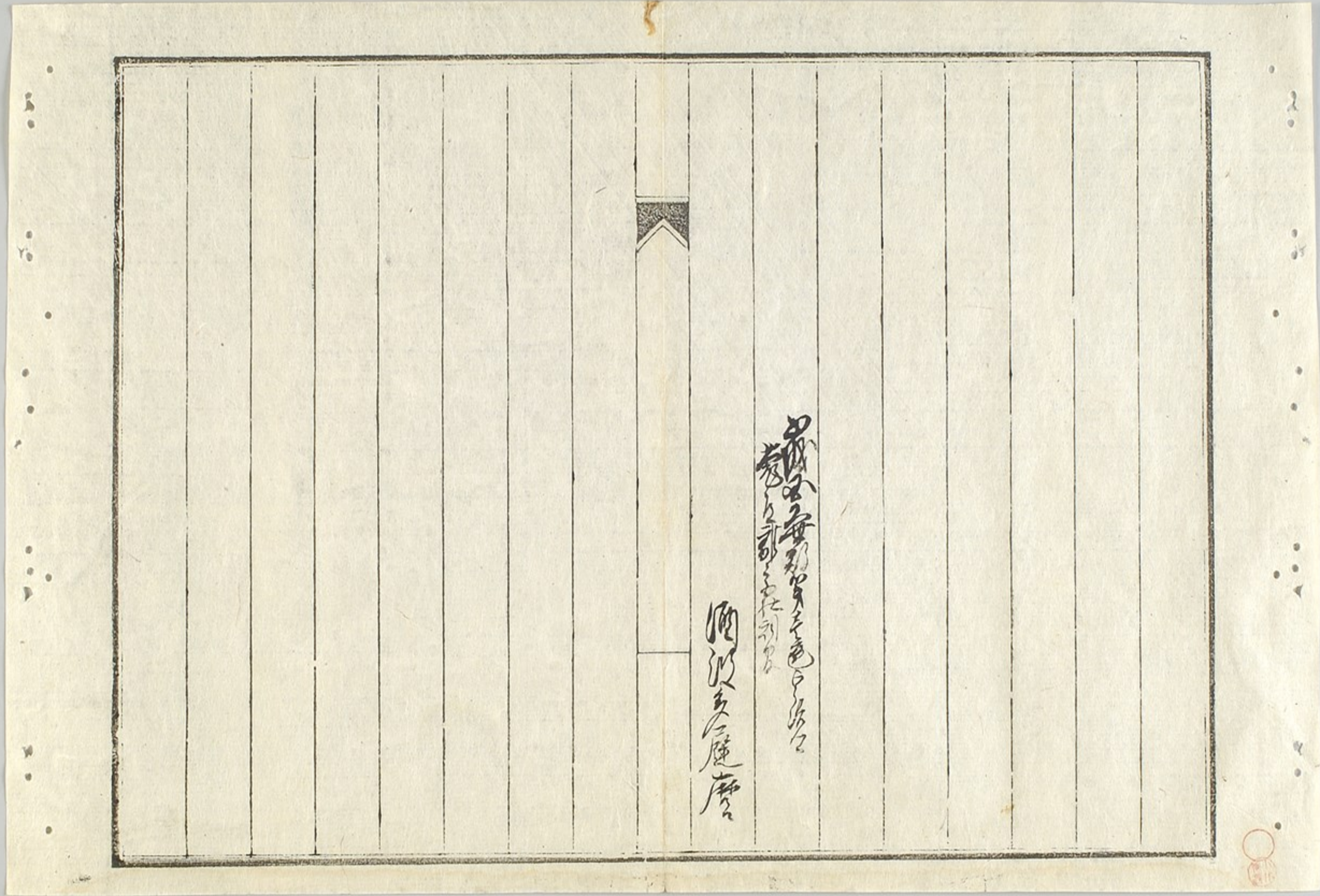


Black

White

3/Color
Red
Magenta
Yellow
Green
Cyan

Blue



酒波文庭磨
東山安部宗茂公法
卷之三十一



宇治神社8 4-1 L03011



白麻府宮下御祭事御勸進御座

御座

御座

御座

御座

御座

御座

御座

御座

御座

御座

御座

御座

御座

御座

御座

御座

御座

御座

御座

御座



Black

©Eastman Kodak Company, 1997

KODAK Color Control Patches

centimetres



一 舊在殿末由のり

結傳

一 三三三

高傳

一 會集殿

高傳

一 祝詞殿

高傳

一 古舞殿

高傳

一 同

高傳

一 末化

高傳

一 辨殿

高傳

一 物部殿

高傳

一 同建坪

一 新築不

高傳

一 舊築不

高傳

一 現在地

高傳

一 舊築

高傳

一 依島

高傳

一 水屋

高傳



Black

©Eastman Kodak Company, 1997

White

3/Color

Red

Magenta

Yellow

Green

Cyan

Blue

Centimetres



一戸子

徳方所
子陽所

子陽所
徳方所

橋中
橋中

橋中
橋中

名福所
名福所

名福所
名福所

地高所
地高所

地高所
地高所

後高所
後高所

後高所
後高所

大高所
大高所

大高所
大高所

上高所
上高所

上高所
上高所

今内所
今内所

今内所
今内所

下高所
下高所

下高所
下高所

古高所
古高所

古高所
古高所

高所
高所

高所
高所

高所
高所

高所
高所

高所
高所

高所
高所

高所
高所

高所
高所

中継書

宇治郡總社

御祭主大神一屋

御祭主大神一屋
御祭主大神一屋
御祭主大神一屋

御祭主大神一屋

御祭主大神一屋

御祭主大神一屋

御祭主大神一屋

御祭主大神一屋

御祭主大神一屋

御祭主大神一屋

御祭主大神一屋

御祭主大神一屋

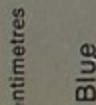
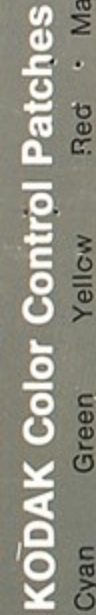
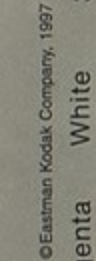
御祭主大神一屋

御祭主大神一屋

御祭主大神一屋

御祭主大神一屋

御祭主大神一屋



大國朝事新記

其の収束也

三原の兵卒

其の漢之

其の漢之

其の漢之

其の漢之

其の漢之

其の漢之

其の漢之

其の漢之

其の漢之

其の漢之

其の漢之

其の漢之

其の漢之



菅道雅之社年中行事

正月

奉幣

神札

神饌

神酒

神樂 舞臺

神酒

神樂

神饌

神札

神樂 舞臺

神酒

神樂 舞臺

神饌

神札

二月

神札

神札

三月

神札

神札

四月

神札

神札

神札

五月

神札

神札

神札

神札

神札

六月

神札

七月

神札

神札

神札

八月

神札

神札



新字位取所長者神事奉り年日
西行入神所長有御事奉り年日

仁徳三

尊尚雅高

應神天皇

表難神公
大分神宮
二皇

神公神宮神宮
神宮神宮

公

日

神氏

公

神氏

神氏

音

神氏

神氏

音

神氏

神氏

音

神氏

神氏

音

神氏

神氏

音

神氏

神氏

音

神氏

神氏

音

神氏

神氏

音

神氏

神氏



Black

White

KODAK Color Control Patches

©Eastman Kodak Company, 1997

Red

Yellow

Green

Cyan

Blue

申絶

申絶

申絶

申絶

申絶

申絶

申絶

申絶

申絶

申絶

申絶

申絶

申絶

申絶





百

百

百

千

千

千

千

千

千

百

百

百

百

百

百

百

百

百

百

百

百

百

百

百

百

百

百

百

百

百

百

百

百

百

百



Black

3/Color

White

Magenta

Red

Yellow

Green

Cyan

Blue

mm

cm

in

ft

yd

m

km

mi

mi

mi

音

大板

律

新

音

律

新

音

律

新

音

律

新

音

律

新

音

律

新

音

律

新

音

律

新

音

律

新

音

律

新

音

律

新

音

律

新

音

律

新

音

律

新

音

律

新

音

律

新

音

律

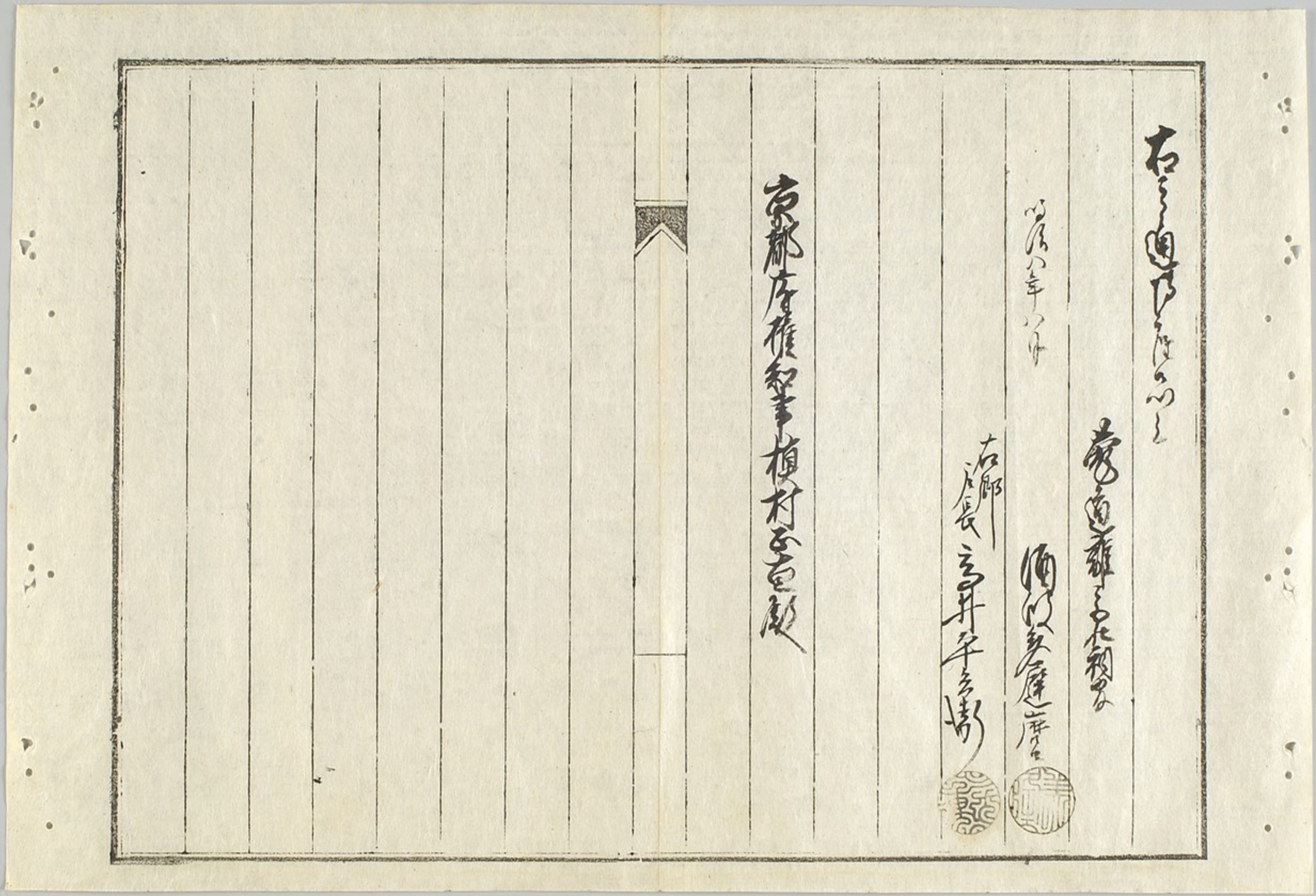
新

音

律

新





京都府権知事 榎村 五右衛門

右部 長之井 平多助

酒の蔵 藤原

京都府藤原

明治八年

京都府藤原



離宮下社

久世郡宇治郷
離宮下社之圖



宇治郡式内十座ノ内

日向神社考證日岡村神明社上申書及繪圖ヲ後ニ附

日向神社

日向ハ比年加比ト讀リ○祭神饒速日命風土記殘缺云日向明神主田

三十五束三字田所祭饒速日命也天智三年奉主田行祭事有神家巫戸等○同郡茅志區日岡

村ニ鎮座旧址當村日岡崎ノ良往還ノ東平林ノ内ニアリト云リ

按スルニ當社或ハ西山村ニアリト云ヒ或ハ日野村

ニアリト云ヘトモ共ニ徵スヘキモノナシ日岡村神

明社ニ別祠アリ之ヲ日向神社ト称シ其藏ル野ノ日

向宮ト書シタル額ハ此清和天皇震筆ナリト云勅額

京都府

ハ集古十種ニ見ヘタリ是以考フレハ蓋旧址廢亡ノ後同社境内

ニ遷レルナルヘシ附ル所ノ社説考ヘ合スヘシ

類社

近江國犬上郡日向神社大和國添上郡大和日向神社鞆

同國城上郡社坐日向神社大月次新嘗

京都府管下山城國宇治郡茅蓋區日園村

日御小惠美須谷鎮座

日向神社 式存

祭神

下社日向宮 天守卷火壇奉行尊
相殿天御中主神

上社神明宮 三女神
相殿天照大日靈貴

一由緒 別紙御座候

附舊神官家傳ノ後昔年日向國主率勝國將長秋ノ神嵐者初代トシテ
社務ニ任厩代相續任後又白鳳年ニ九人ノ神官ヲ附賜ル其後元亨ニ奉中ノ

比三三三ノ神官不殘廢亡仕後慶長年ニ野呂左衛門尉宗光祝務相勤致シ
其任七代相續任後寛政元年日向侯ニ封拜致仕後同三年中津川内藏
大屬相續任後同二年宣年同任駿河守相續任後同天保元年同任務相
續任後

一勸請 年月難相分御座候

一例祭 三月十六日 新曆相用候
九月十六日

一社殿建坪

下ノ本社 拾六坪
上ノ本社 同上

社務未詳 忍徳丹神社 三天門入
子々稚神社 同上

衰々島見神社 同上
尊石合神社 同上

<p>右之通御座候以上</p>	<p>一 自該廳距離御府ヨリ西拾町余 以上</p>	<p>一 氏子 惣御座候</p>	<p>一 舊社領 朱黒印等 惣御座候</p>	<p>一 旧境内 惣御座候</p>	<p>一 境内反別 壹反余</p>	<p>氏神社 同工</p>	<p>星夜見社 同工</p>	<p>花条社 同工</p>	<p>神田社 同工</p>	<p>両羽社 同工</p>	<p>出雲社 同工</p>	<p>五行社 同工</p>	<p>皇祖社 同工</p>	<p>山祇社 同工</p>	<p>天神社 同工</p>	<p>細井社 同工</p>	<p>松尾社 同工</p>	<p>八百萬神社 同工</p>	<p>多賀社 同工</p>	<p>忠義後社 同工</p>	<p>八万祇女社 同工</p>	<p>磐余彦神社 同工</p>
-----------------	-------------------------------	------------------	------------------------	-------------------	-------------------	---------------	----------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	-----------------	---------------	----------------	-----------------	-----------------



KODAK Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11



Black

3/Color

White

Magenta

Red

Yellow

Green

Cyan

Blue

KODAK Color Control Patches

©Eastman Kodak Company, 1997



日向神社4 4-2 L03027

明治八年七月

相掌

中津川一務

戸長

黒澤儀三郎



日向神社由緒書

天智天皇御宇日向國高千穂在神代跡ヲ移祭
 所トヒトシク増茂ヤシク冬セテ明ト奉リ宮殿嚴重ニシテ代
 々ノ帝王御崇敬ミシテ天智天皇御宇ハ神領ヲ
 増加九人ノ神官ヲ附奉セシメ又清和天皇貞觀年中ニ菅
 原秋津ノ詔命アリテ賜ヒテ宮殿修造ミシテ其時日向宮ト震
 筆御額ヲ納メ給フ是ヨリ宮号ヲ唱テ日向宮ト稱シヤロハ
ノ地ヲ往還シ今テハ神領日向宮ト云アリ後ニテ兩宮嚴重ニシテ本序ヲ經テ後醍醐
 天皇御宇神官志ケ官軍ニ屬シ終ニ降シテ是ヨリ社地
 荒廢シ其ノ應仁兵火ニ亡シテ神領境ニ失テ御造營々
 キクノ年中ノ冬式ニ廢ヒリ彼ノ泉ノ古ニカハラヌ過リ依
 ノ宮居ラ官ニクシク又奉リシテ徳川家康公關洛ノ祠務
 ニ奉リテ左衛門尉野宮宗光ニ社務修理ノ科ヲ賜フ是ヨリ
 再興アリテ諸殿全建加古ノ社額云々其ノ十ノ一ニ存リ尚

世ニカクテクハ猶然ト仰ギ祭リ奉ル處ニ御座候

右者社傳由來記ニ御座候此外舊記ノ類連續不
仕候ニ存悉シク難相分御座候

申傳記

一 下ノ本宮者往々今テノ鎮座ノ所ヨリ巽方へ去ルテ六所奈
字事代ケル峯ノ南^{今略シテ言}カニ子ト云 則日因作ヨリ良ク方山蘇
ニ鎮座シ玉ヲ云諸書ニモカク相見ヘ後然ルニ應仁ノ祭ニ
亡シテノ後今在所へ移シ祭リシ事ト申傳御座候

一 上ノ本宮ニ祭神田心姫神湯津姫神市杵嶋姫神ナリ即
下ノ本宮祭神皇孫尊ニ附スル處ノ神ニシテスル神代上
卷一書曰汝ニ神宣降居道中奉助天孫而為天孫所祭
也云如此ニ看所ノ後ノ祭リ方ニモハ兩社ハ既ニ相引トナル
處ナリスルハ勸請ニ諸共ニ時ノ事ト又根社ニ所々ニ離レ有
シヨシ申傳ハ御座候

一 當根社内ニ恙養復社迦摩彦往古ハ磐上四号松坂村路ノ傍ニアリ
袖ノ内原未白川ノ流ニヨリ東ナル民家ニ都ラ此社ヲ産天ノ神トス
神靈ノ後所ノ粟田領夷所ニアリシト又一説ニ松坂村夷川一名小
川水原夷谷ヨリ出ル昔此川洪水ノ時夷ノ神靈流ク其所ニ

KODAK Gray Scale

Black

3/Color

White

Magenta

Red

Yellow

Green

Cyan

Blue

centimetres

KODAK Color Control Patches

©Eastman Kodak Company, 1997



止リシト故ニ町ノ名ニスト云
右申傳ノ由ニ相成ニテ此處ニ申上ル

一社号ノ後通和泉田ノ神明社ニ唱ニ相成来後迄諸書可ニ
カク相見ニ茲本社日向社ニ候ニ考中古荒廢ノ後ハ神明
社ノ地ニ移シ再興相成後候ニ身カクニ世ニ唱ヘシトニ座座
後枝雲集ニ十月ノ比栗田ノ神明社ニテト記シ和歌御
座候

以上

右ノ通御座候以上

明治八年七月

相掌

中津川一務





日向神社舊地之親書

及別社取捨或分

宗朝田

本社跡

宗古田

及別社取捨或分

右條馬・地ハ日向神社舊地下申傳ノ古田村ヨリ古
ヨリ良ノ方世還ノ事ナリ平林殿申ノ伝来ノ古字ニシテ

社ノ跡ナリシ平地跡ニ在リテ同傳還ノ西ノ道ノ傍ノ古

ヨリ清方ト唱ル各名水ニ跡在リテ右舊地ノ儀

跡ヲ親手此作奉申上ル也

宗古田村

明治八年八月

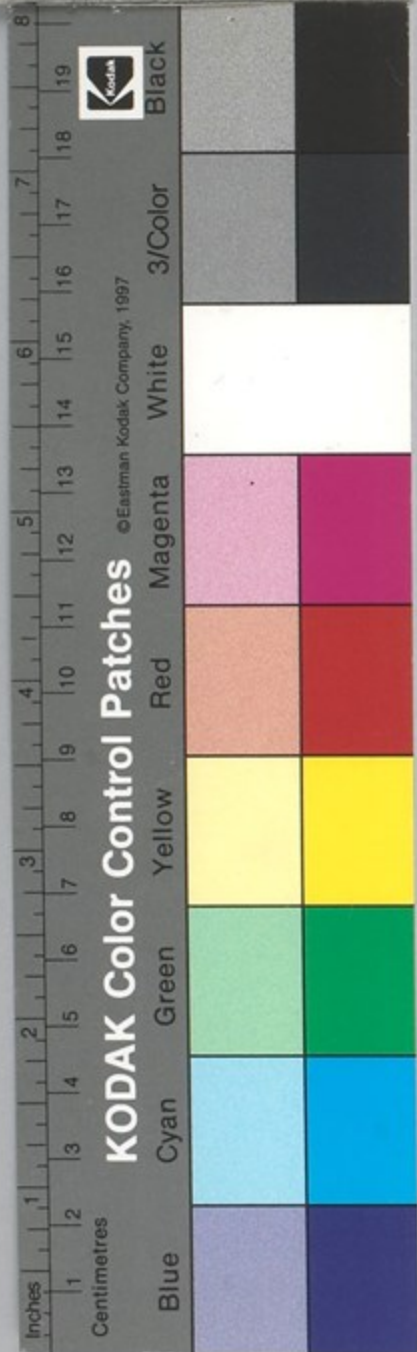
仁長尾清方



©Eastman Kodak Company, 1977

KODAK Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10



KODAK Color Control Patches

©Eastman Kodak Company, 1997

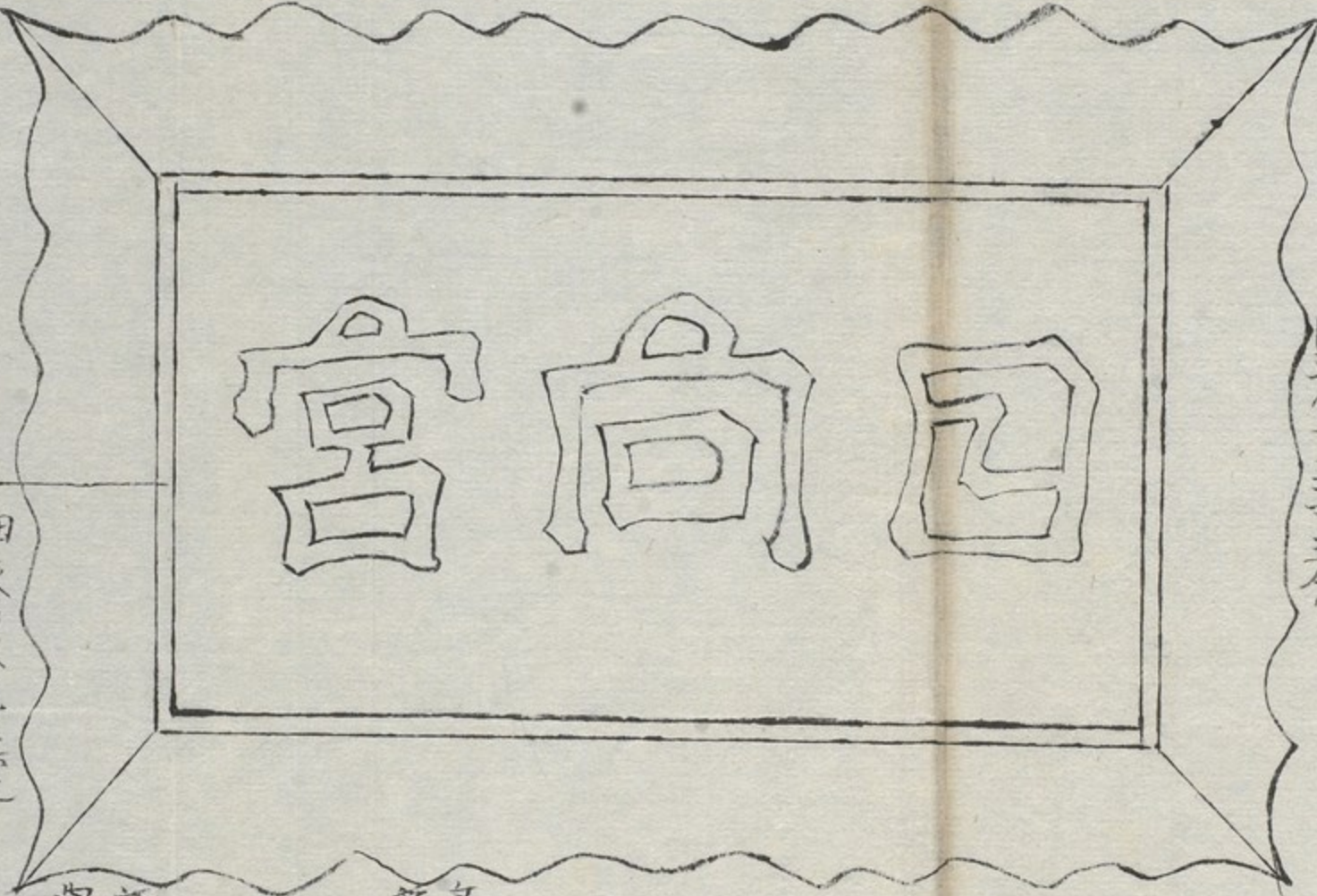
White Magenta Red Yellow Green Cyan Blue

3/Color



清和天皇御宸筆

日向神社勅額寫



細縁打損元比白無之

額縁ノ雲取
由之用共打腐

文字處々ニ金
箔薄相残有

横三寸五分

縦三寸五分

明治元年八月

仁長尾河傳之



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10

日向神社



日向神社

日向神社
寛政十一年
繪



日向神社 4-4 C03004

宇治郡式内十座

許波多神社考證本幡村本幡神社五箇庄村柳
神社上申書及繪圖ヲ後ニ附

許波多神社三座並大月次新嘗

許波多ハ假字也○祭神天忍穗長根命二座不詳釋日本
記云山

城風土記云宇治郡本幡社社名天忍穗長根命○神社考
云一書吾勝尊作天忍骨尊蓋吾勝尊不降下土故魚山陵
而祀其靈名本幡神社○同郡葦藪區本幡村ニ鎮座旧址
ハ當

是天照大神之子也社ノ東南十五町許ノ山
上ニアリ字ヲ神山ト云○山城志云二座本幡村一座在

五箇庄大和田村俱称柳明神五箇庄村
同郡同區

按スルニ本幡村本幡神社志ニ俱称柳明神トアレト
モ當社ハ古来本幡神社ニ

テ柳明神ト称セシテ今詳ラカナラス社説ニ云本殿一座田中社ニ座合

京都府

テ三座ナリト然ルヤ否志ニ五箇庄村柳明神ハ許波

多三座ノ一ト云ヘトモ今其社説ニハ古来祭神三座

也ト云ヘリ惣國風土記殘缺ニ免道郡云々北限柳神

社トアルヲミレハ蓋同社ハ別社ニ非スヤ尚可考ナ

リ○神社叢録云按スルニ本幡大和田兩村ニ坐ス事

ハ伊勢國志郡阿射加神社三座大阿坂小阿坂兩村

ニ在テ共ニ今龍天大明神ト称シ筑前國下座郡美奈

宜神社三座林田美奈宜兩村ニ在テ共ニ今喰那尾大

明神ト称ス類例也

神位



京都府

三代實錄貞觀元年正月廿七日甲申奉授山城國從五位
下許波多神社從五位下



京都府下山城國宇治郡茅二區木幡村

鎮座 木幡村

許波多神社 式内

祭神

本社一座 正哉吾勝勝速日天忍穗耳尊

相殿田中 天穗日命 天津日子根命

以上

一由緒

宇治郡第二區

延喜式曰帳神名許波多神社並大月次新嘗

山城國風土記曰宇治郡木幡社社祇

名天忍穗根命三代實錄曰貞觀元年正月奉

授從五位下許波多神從五位上

釋日本記曰正哉吾勝勝速日天忍穗耳尊中於

天忍穗耳尊者遂不降此國仍無山陵歟但如神

名帳者山城國宇治郡許波多神社三座勅

風土記曰宇治郡木幡社社祇名天忍穗根尊云

又曰木幡社可謂宗廟歟尊崇可異他乎云
又曰弘長諸祭興行之時當社祈年月次祭
幣帛神主請取由載本官史生散杖云
神名帳考證曰木幡神社 今木幡山右)

宇治郡第三區

一舊神官家系 神主 中村美公

家傳日記紛矢始祖並慶長以前難相分候

為神主兩社奉仕慶長三年戌九月
叙從五位下任肥後守 中村美忠

為神主兩社奉仕元和八年戌二月
叙從五位下任大和守 中村美道

正徳元年卯九月吉野守受免許
為神主 中村美治

享和十四年酉正月前同 中村貞直

延享四年卯九月前同 中村貞美

為神主明和六年丑三月
叙從五位下任肥後守 中村信秀

KODAK Gray Scale

Black

3/Color

White

Magenta

Red

Yellow

Green

Cyan

Blue

centimetres

KODAK Color Control Patches

©Eastman Kodak Company, 1997



天明七年未七月吉田家より免許受
為神主

中村美直

文化元年子八月前同

中村美光

慶應四年辰二月前同
為神主而社奉仕現今木幡神社祠掌

中村美公

旧神官家系

神主

泉美秀

家傳日記安永三年家宅火共燒家系

安永以前相分不申候

為神主而社奉仕寛延元年二月
叙從五位任能登守

泉直光

宇治郡第三區

明和八年卯七月吉田家より免許受
叙從五位任能登守

泉正重

安永四年未二月前同

泉時中

文政三年辰九月前同

泉美晴

慶應四年辰二月前同
為神主而社奉仕現今田中神社祠掌

泉美秀

旧神官家系

祠官

松尾直經

前世日記焼矢守不詳

寛文三年卯八月吉田家執事
叙任從五位上榑守為祠官職

松尾直忠

寶永三年九月前同
叙任從五位上美濃守

松尾嘉忠

寬保元年酉八月前同
叙任從五位相模守

松尾嘉貞

明和六年丑三月高倉
免許受
為初官職

松尾則忠

天明六年午二月前同

松尾直道

文化十三年子十月前同

松尾恩忠

慶應四年辰二月前同

松尾直經

旧神官家系

初官

松尾知治

宇治郡第二區

前世旧記焼失不詳

寬文三年卯八月吉田家親參以
叙任從五位上近江守為初官職

松尾宗貞

宝永三年戌九月前同
叙任從五位上肥後守

松尾信清

寬保元年酉八月前同
叙任從五位下出雲守

松尾政清

書類焼失不詳

松尾榮貞

書類焼失不詳

松尾玄乘

書類焼失不詳

松尾壽乘

慶應四年辰二月吉田家
免許受
為初官職

松尾徃永

KODAK Gray Scale

Black

3/Color

White

Magenta

Red

Yellow

Green

Cyan

Blue

centimetres

KODAK Color Control Patches

©Eastman Kodak Company, 1997



明治三年壬午月家督未允許不受

松尾知治

旧神官家系

祠官

松尾成聖

前世旧記焼矢不詳

寛文三年卯八月吉田家執事以叙任送五位上伊勢守為祠官職

松尾重頭

寶永三年戊戌九月前同叙任送五位上大隅守

松尾誠光

寛保元年酉八月前同叙任送五位下大和守

松尾定新

書類焼矢不詳

松尾定融

書類焼矢不詳

宇治郡第二區

慶應四年辰二月吉田家為祠官職

松尾加誠

松尾名成

明治五年申九月家督未允許不受

松尾成聖

一 勸請 年月未詳

一例祭 往吉月五日之延何項戸力九月五日相成然延言十三日
九月廿日相成復延明治辛卯新曆正月一日相勤之

一 社殿 建坪壹坪壹合 梁二間 桁三尺寸

末社 祭神 天照大神 梁三尺寸 桁同上

同社 祭神 春日大神 梁同上 桁同上

拜殿 間四方

御供殿

神輿庫 梁二間 桁三間

宇治郡第二區

午水屋 梁四尺 桁三間

田中社

社殿 建坪二坪壹合 梁一間 桁二間

末社 祭神 市杵嶋命 梁三尺寸 桁同上

拜殿 梁二間半 桁三間

御供所 梁四尺 桁三尺寸

神輿庫 梁二間 桁三間

午水屋

梁買、桁一間

一現境内

及別二所九及畝三二歩
廿九高三石令四升七合

一旧境内

九及別三町余歩

一田中神社現境内

及別一所及畝三歩
廿九高九斗九升

一旧社領朱墨印無御座候

但兩本社より三町半北方畑間旅所在坪數

二百令五坪 旧地木幡村惣持山内字神山

宇治郡第三區

唱候地面在之往古本社此地御鎮座有之候由

申傳候此及別凡三町余又三町程隔ち鳥居

坂ト云地名モアリ又鳥居坂西三十米由神ト云

地名モアリ又北方小松山壹ヶ所除地二方六千

百四十坪 此高一石斗 去ル明治四年上知相成

本社ヨリ旧社跡江距離凡十五町余東北有リ

度々兵火ニ羈リ當社地江轉草之由雖申傳

更ニ年号不分明 旧社領有之_{トモ}何之頃ヨリカ

御年貢地下相成候今宮山且宮田御及田下云
地名上有上七志ノ當時御年貢地下相成候
一氏子戸數二百四十三戸内
宇治郡茅三區本幡村百千六戸
紀伊郡茅三區六地蔵 百七戸
一京都御府ヨリ 三里十町余

宇治郡茅三區本幡村

本幡神社

祠掌

中村美公



宇治郡第二區

田中神社

祠掌

泉美秀



前書之通相違無御座候以上

右村

明治八年三月十月

戸長

素原善平



同

松尾光衛門



KODAK Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11



Black

3/Color

White

Magenta

Red

Yellow

Green

Cyan

Blue

Blue

Blue

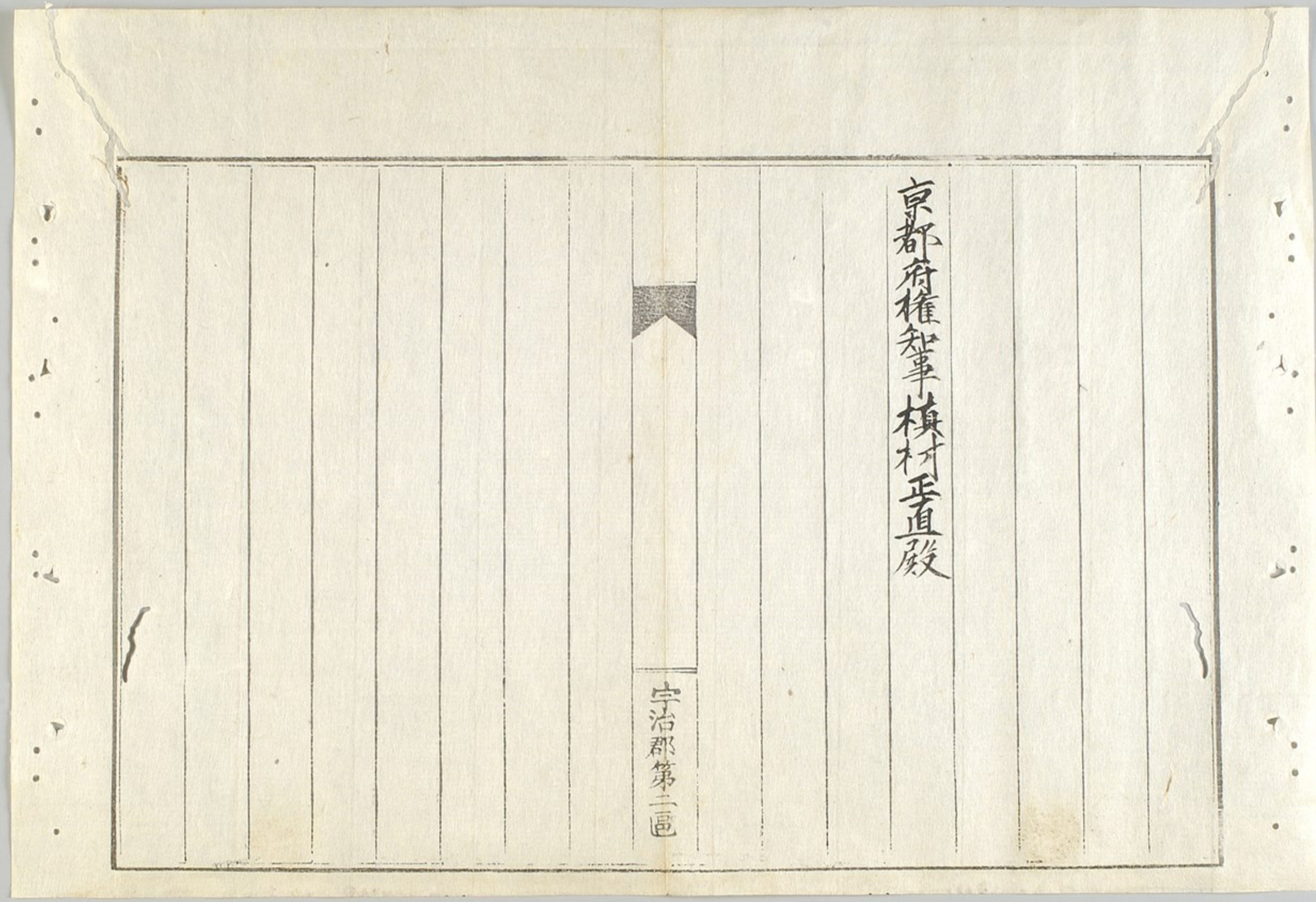
centimetres

KODAK Color Control Patches

©Eastman Kodak Company, 1997



許波多神社11 4-3 L03044



京都府権知事 榎村正道殿

宇治郡第二區

KODAK Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10

Kodak

3/Color

White

Magenta

Red

Yellow

Green

Cyan

Blue

Black

©Eastman Kodak Company, 1997

Centimetres

KODAK Color Control Patches

Black

White

Red

Yellow

Green

Cyan

Blue

木幡神社之圖



宇治郡第三區木幡村



木幡神社 4-5 C03005

田中神社之圖

御旅所之圖



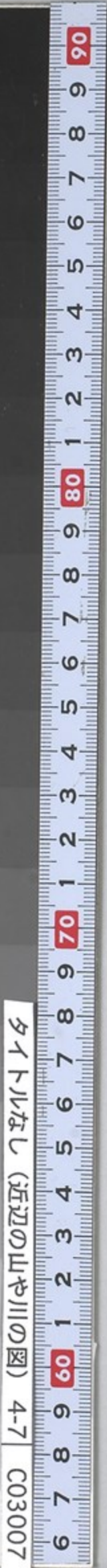
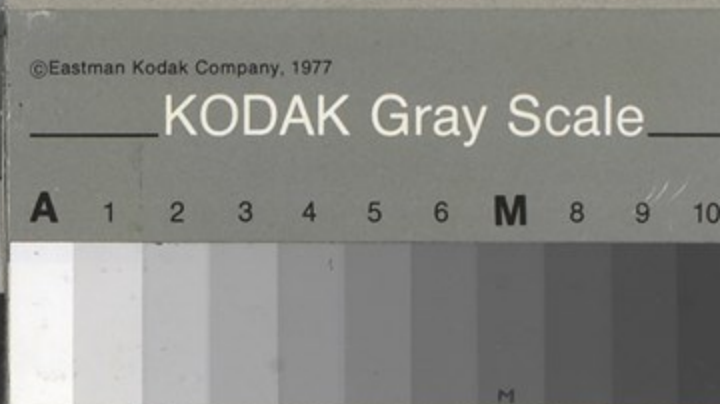
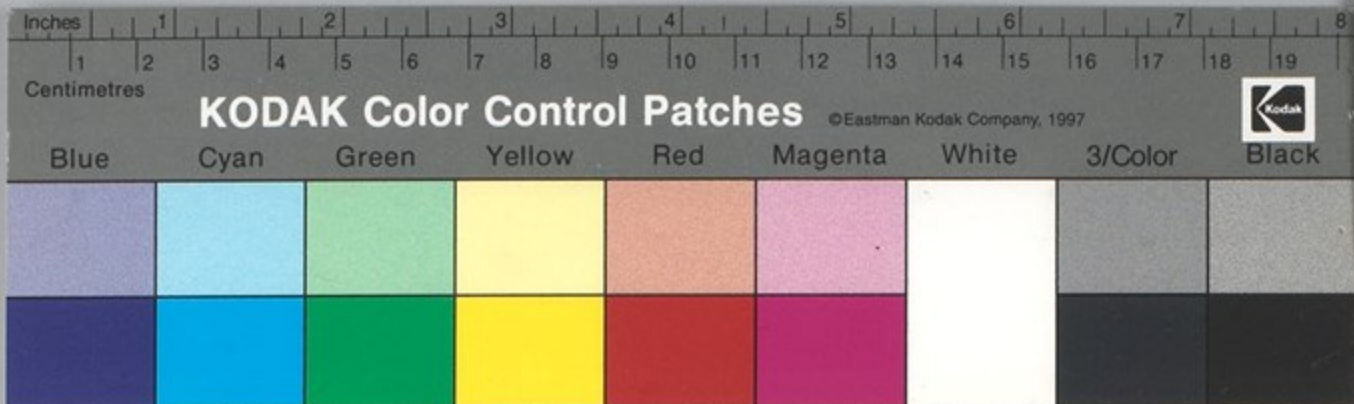
宇治郡第三區木幡村

田

田



田中神社 4-6 C03006



タイトルなし (近辺の山や川の図) 4-7 C03007

神社取調書

京都府下山城國宇治郡第二區五箇莊村

鎮座 字柳山

式内之社

柳神社

祭神

正哉吾勝、速日天忍穗耳命、亦名天忍穗根命、
天迹岐志國迹岐志天津日高日子番能迹、藝命、
亦名天津彦火瓊杵命、
神日本磐余彥命、謚神武天皇

一由緒

延喜式神名帳許波多神社新大月○神名帳考云
三代實錄云貞觀元年正月廿七日奉授許波多神從五位
今在木幡○山城風土記云宇治郡木幡社名天忍穗根命
○釋記八十一先師申云本緣自昔若存知之欵如風

土記者宗廟神尊崇可異欵弘長諸祭與之時當
社祈年月次祭幣帛神主請取之由本官吏生散狀當時現
在欵○家傳記許波多鄉名五箇莊莊名也今木幡村
大和田村邸名有之又小和田小幡文字皆之候永祿十
二年九月十九日山城五箇莊柳大明神位之事以職
事中御門宣教奏問仍口宣上鄉師中納言永祿十
二年九月廿日宣旨柳大明神位叙正二位藏人允少辨藤
原宣教奉勅許之寫有之本紙燒失傳有之候延寶
六年天和二年兩度本社造營付本院御所東山天皇法
皇御所靈元天皇新院御所中御門天皇中宮樣時將軍家
宣公御臺所從二位源子右其外攝家華族御
寄附物有之候遷宮度古田北秋原兩家神役參向
有之候得共文化年中相絶候舊神官之儀不詳候得
往昔持傳候當社古神札表寶德三年癸十二月二十七
日右方長者酒浪菊若丸左方長者酒浪光持公文渡邊
淨徳下司國部通忠宮僧權大僧都良舜怡雲庵正



一 勸請書記

賢福聚庵梵梵治同神輿古神札寫天文七年戊四月十六日奉行源渡邊下總守光盛九方長者酒浪光國右方長者酒浪光吉公文渡邊光治下司藤原光孝小御殿下司光盛左方別當權大僧都澄宣右方別當權大僧都經覺認有之候同明應九年辛六月五日當庄揚官大明神御前云公文光廣下司光康九方長者龜丸右方長者光吉連署之書面有之候其後不詳漸元和元年十二月出位下右兵衛少尉木村治安此者六代相續任官勅許之上朝廷大祿御被獻上任奉候和文政元年三月受職天保五年三月任叙從五位下土佐守明治六年八月三日神勤被差免同年四月日京都府士族柳神社祠官兼教導導職被仰付候當社記取調候得共不分明候

一 例祭日

舊例八月日旅所神幸九月二十六日從旅所本社工還幸祭式之處去明治六年當區小學校規則之旨郡中一般十一月日神祭之日相成候

一 社殿建坪

本社桁行二間五尺四寸木行二間三尺地坪六坪八分三厘
旅所本社桁行七尺四寸木行八尺五寸地坪四坪
末社六所之内四尺三寸五寸二社同九尺四尺二社同二尺六寸三尺三寸二社地坪六所合三坪余旅所未社一十一所
二尺九寸一尺八寸地坪一分八厘

拜殿桁行六間半木行四間地坪廿四坪旅所
拜殿二間四方地坪四坪

神鎮土歲三間四方地坪九坪從前社地有之候處
當時神官家敷上納地建有之候旅所神輿土歲
二間四方地坪四坪

一 境内及別

當時現在地三及四畝十步並參詣道四間巾凡三百拾間同旅所現在地壹及三畝十步有之候

京都府權知事植村正直殿

區長 内川吉郎兵衛

戶長 安井利兵衛

柳神社祠官 木村宣治

山城國宇治郡第一區五箇莊村

右之通御座候以上

明治年

一自詠廳羅

御府ヨリ當社迄三里半有之候

一氏子ノ數

二百十二戸但居村總氏子御座候

一舊社領

相成候
朱黒印等並御座候得共旧除地山林立木氏子而談ノ上社用私費共ニ用未候得共當今上知

一舊境内

成候
字柳山廻リ凡二十五町従前除地之處當時上地ト相



柳神社旅所

京都府權知事植村正直殿



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10

柳神社

柳神社



柳神社

6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90

宇治郡式内十座

天穗日命神社考證田中神社上申書及繪図ヲ後ニ附

天穗日命神社

天穗日ハ阿麻乃保比ト訓スヘシ延喜六年ノ日本紀竟寧ニ得天穗日命矢田

部公望河磨能廢臂儀弥衆美野歟之々ト讀リ神社叢錄云宣長々阿女と讀られと今々竟寧和哥に從ふ

○祭神明ラカナリ○山城志云在石田村石田森祢田中

明神石田村ハ同郡炭二區

按スルニ神社叢錄ニ考證云今云縣宮名勝志ニ土人云所祭宇治頼

長公也古きも平野坐縣神と穗日命といふより推考

ふと當らふ海子と非るの或人されと土人の説を

京都府

云上離宮ハ即ち朝日山の麓なり山城風土記ニ所謂

朝日山神社にて式ふいふ天穗日命ある事決一と云

朝日山神社ハ天穗日命を祭ふとハあまきとそまを

上離宮とハ定免う連流按るル石田森ハ萬葉集

九子山品之石田乃小野之母菟原之々同十二子山科

乃石田杜子布麻越者云々同十九子山科之石田之森

之須女神云々々あるなと思ハハいと古く見えて

既く神社と聞カキヤあるく山城志ニ從ハト云リ

蓋當レリヤ否○再ヒ按スル惣國風土記殘缺ニ朝日

山神社所祭天穗日命也トアルヲミレハ是則式ニ云

天穂日命ニシテ此神社ハ朝日山ニ在リトシヘタリ

上ノ離宮ノ末社ニ春日社ト称スルアリ此社昔シ朝

日山ニアリシヲ此處ニ移セリト云リ蓋是当社ニ由

アリテ聞ユサレトモ旧記モ遺説又山城風土記久世

モ明カナラサレハ今定メカクシ

因幡國高草郡出雲国能美郡天穂日命神社各一

神位 官社

三代實錄貞觀四年六月十五日壬子山城國正六位上天

穂日命預官社同月十八日乙卯授山城國天穂日命神從

京都府

五位下



神社取調書

齋宇部第貳區
石田村

神社取調書

京都府管下城國宇治郡第ニ區石田村

鎮座 石田森

田中神社

祭神

天照皇大御神
大山咋神

祭神依者明治六年三月御政ニ布
石田森ニ因テ左ニ三柱大神ニ神名

ヲ奉申上候由今般古書ニ因テ取
調奉申上候由結ニ通シ當社依者
天穗日命神社ト奉窺候左ニ神社
ニ候得テ祭神ト全テ天穗日命大神

同者毛御座奉存候ニ程大神別
向相慶奉存候以前天穗日命
神社田中神社ニ程有テ是ラ合社
ト奉窺候難然此處御座奉
奉申上候通ニ祭神ト奉申上候

末社

小幡宮
春日社
天満宮

由緒

延喜式神名帳云山城國宇治郡天穗日命神社
神名帳考云三代實錄云貞觀四年有五日云山城國正
後矣禮日命神御座社同者乙卯奉授城國天穗日命使臣下
山城志云石田村石田森神田中明神
萬葉集云山階之石田森之御馬神奴左取向天吾御越
往相坂山家

KODAK Gray Scale

Black

3/Color

White

Magenta

Red

Yellow

Green

Cyan

Blue

metres



都府園繪云石田林醍醐の南ニ有石田社云云

山城記殘繪云麻園之頭ニ神座天穗日命ニ座初
矣云々各祭主人以之為神供料麻園ハ此社舊社跡也

神社便覽前各跡志云白鳳年登天皇御宇此里而然
上夜間積苗數人其上自羽天老前未現云此地
鑿座天照皇天御神云云神然云云則永為帝都
方守護明神耳依之鑿座云云其積苗之地石田林也

有今苗塚ト申傳御座候

當社日記燒矣仕候由申傳候以前同村氏子農民等祇
宣下唱神初仕候者且申傳候傳共臣申絶仕當今
真之相成候當時別段神初不仕候

曰神官松平信布元帥田惟也餘苗家合皇子六代清和
天皇末葉則信則餘田申也世至也餘田五高孫家義

賴朝御忠功仕御恩賞駿河國ニテ御加増有之似然
則三代之后仕候事

一苗家公御子孫ニ參院門外准三宮滿濟御入寺之節
為後見力附置後醍醐齊小京極御攝城郭ヲ云々
院門外參義滿之西下御奉公相勤申候其幼所
領小別法城寺中川左城の宇治郡石田村西小京極此也

今在石田村仕候事
石田苗家孫家義今十高月寺子孫子家元長録

在石田村仕候事
泉元貞種助家全至嚴助家益六位兵衛助

發多 家次修理 為俊此係石田神宮
修理 為豊修徳傳 高彦由神宮神宮 高誠吾庄正徳守

正徳正徳守
出雲 種郁出雲 種直出雲 種續
石家義子當程緒也代數字代正偏其幼御座候
先祖代石村甲申神社神宮廟同新來候如表明



京都府推事村正並殿

林久助



石村
之長

中津謙忠



明候年

同郡同邑南小栗村
一陽宮初堂

石之通 仰答候 以上

一 自該廳距離 京新廳近 九 二里余

一 氏子戸數 四拾七戸

一 舊社額 毎戸毎候

一 壇名之別 旧壇丹公七社四步
現在壇内土宮各四步

一 社殿建拜 拾六坪

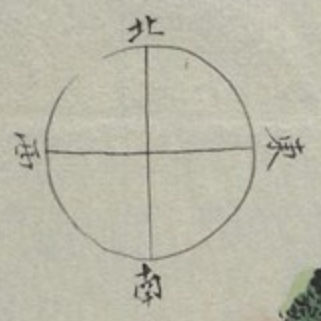
一 例祭日 明慶五年四月廿四日
依二部年一殿土月百相成候事

一 勸請年月 古記無傳候事
名詳

注言月事百神勤修之為免候事
存通同神事了申由候事在畧記奉申上候



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10



田中神社



山城國宇治郡第貳區
石田村



田中神社 4-10 C03010

宇治郡式内 十座ノ内

宇治彼方神社考證 彼方町及大鳳寺村上申書繪圖又縣神社上申書繪圖ヲ後ニ附

宇治彼方神社整頓

宇治ハ前ニ同シ彼方ハ遠知加多ト訓スヘシ 日本紀九

能阿邇 摩菟邇邇 摩菟邇邇 ○祭神宗像神 惣國風土記殘缺云宇治遠方神社主田四十

五東三毛田所祭宗像神ニ ○在所山城志云宇治彼

方町 彼方町今久世郡茅寺區宇治御ナリ ○

按スルニ當社旧址ハ彼方町ノ邊リナルヘシ同町今

小祠アリ諏訪神社ト称ス 此社昔ハ彼方 土人云是彼

方神社ナリト雖然彼方神社ハ則宗像神ニシテ諏訪

京都府

神ニハ非ルナリ蓋彼方ノ文字ノ磨滅セシテ誤テ諏

訪ニ作リタルナラスヤ 名勝志ニ云ル大鳳寺村ノ

産神ハ則宗像神ニシテ彼方ノ祭神ニ符合スト雖モ

今徴スヘキ證ナシ况ヤ彼方町ノ邊ニハ非ルヲヤ又

或人説ニ久世郡茅寺區宇治御縣神社是ナリト云ル

アリ 其考證ヲモ後ニ附 其説縣祭神吾田津姫ナレハ之ヲ社号

ニオハシタルナリアラ音通ナリト云ルハ一渡リ聞

ヘタレトモ塾ラ之ヲ推考スルニ日本紀ノ文ニ鳥知

簡多能阿邇 摩菟邇邇トミヘ源氏浮舟卷ニ水ナリ

ト云チの里人イカなる人晴をなめりかきくらす





京都府

比又五社百首ニをちかくや都のたつと誰すこてま
 きの炭かま煙たつとん又中務内待日記ニうちなる
 をちといふ所をいねハいほね音此跡をんと色々
 のもみちとも見へたるに司存つかなつれ昔のあ
 とをいんちちかく人ふことやとハまじト云テミ
 レハ彼ノ縣ノ号ハ祭神ノ御名ヨリカハセタルニモ
 セヨ此彼方ノ名ハ古ク此地ニ在テアカタヨリ押遷
 ルニハ非ルナリ然則縣神社ハ是別社ニシテ彼方神
 社ハ曾テ彼方町ノ邊ニ在シテ決セリ故ニ今其説ニ
 従ハサルナリ



元書別ニ存ス

山城國久世郡第寺區宇治郡
彼方神社 繪圖面添

彼方町中
京都府

京都府管下山城國之世郡第壹區宇治郡

鎮座

彼方町

由緒

當時各志存

勸請

年月不詳

例祭日

十二月七日

本社

建坪

轉西 二尺六寸
三尺五寸

現在境内

拾六坪

舊境内

不詳

舊社領

無詳

氏子

但彼方町中指

當時各志存

年中祭日

京都府

神撰奉幣

神饗 酒米

一月一日

全

全二日

全

全三日

全

二月一日

全

全七日

全

三月一日

全

全七日

全

四月一日

全

全七日

全

五月一日

全

全七日

全

六月一日

全

山城國久世郡宇治郡彼方町

鎮座彼方社

彼方神社社名延喜神名帳山城國宇治郡

宇治彼方鎮座中一由志神を住持者也

彼方郡の彼方町に神あり一曰記に志摩郡

焼亡は由り傳依り今も彼方神社年中祭り郡宮

上社祠掌宮中時雇入神祭仕居被給に彼方町

宇治郡あり志摩の由り世に於て近き比り也

記に彼方町に志摩の由り口上書奉り也

右者

昔より年中天明年中迄の名帳名寄

たりしに山城國宇治郡本郡彼方町と表に

京都府

記にたゞ五を今久世郡と附し天明年中

より後にありしに依り本宇治郡に五邊に在り

山城國久世郡第志延宇治郡

此後八年よりなり

彼方町に

坂部町に

前書之通相違之依り與不也

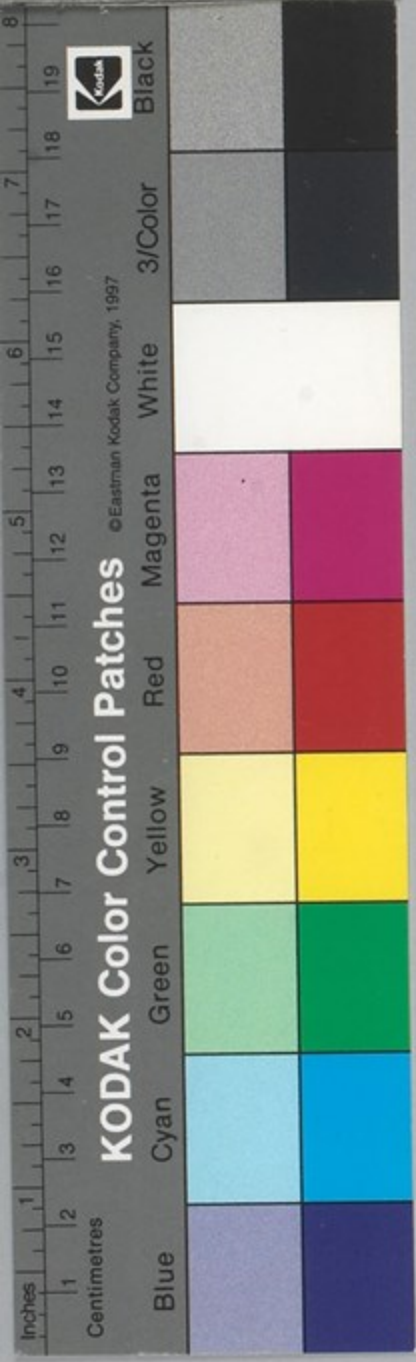
右郡戸長 入江 龜七

京都府權知事榎村正道殿

©Eastman Kodak Company, 1977

KODAK Gray S

A 1 2 3 4 5 6 M



諏訪神社之圖

久世郡第壹區
宇治御彼方町



西

右廊戸長入江通七



諏訪神社 4-11 C03011

神社取調書

京都府下山城國宇治郡第二區太鳳寺村

鎮座

字段ノ上

嚴嶋神社

祭神

市杵嶋姫命

一 由緒

社記不詳候舊神官之儀者同村居住宮林家社等
仕末候祖先之儀者永祿二年時代財内玄蕃頭
ヨリ當代宮林源造孝應迄十五代相續候處去
明治六年八月三十日私祠掌兼勤被仰白候

一 勸請記

不詳候

一 例祭日

舊例六月十七日神祭仕末候處去
明治七年當郡
小学校規則之旨郡中一般十月一日神祭迄日相成候
本社桁行一丈五尺五分梁行一丈四寸地坪三坪七分

一 社殿建坪

末社一ヶ所三尺六寸二尺二寸

拜殿桁行三間半 梁行二間半 地坪九坪

井戸家形三尺七寸四方

一 境内及別

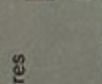
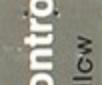
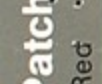
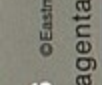
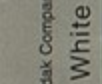
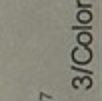
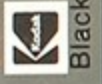
一及三畝十步

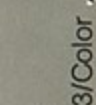
一 舊境内

舊境内二無御座候

一 舊社領

朱黒印無御座候





京都府権知事榎村公直殿



區長 内川吉郎兵衛



戸長 久保寛真衛



巖嶋神社祠掌 木村宣治



明治年十月 山城國宇治郡第二區太鳳寺村

右之通御座候以上

一 自該廳距離

御座候 當社迄三里半十町御座候

一 氏子之數

二百四戸但居村總氏子之御座候



嚴嶋社



京都府権知事植村公直殿

印



嚴嶋社 4-12 C03012





Black

3/Color

White

Magenta

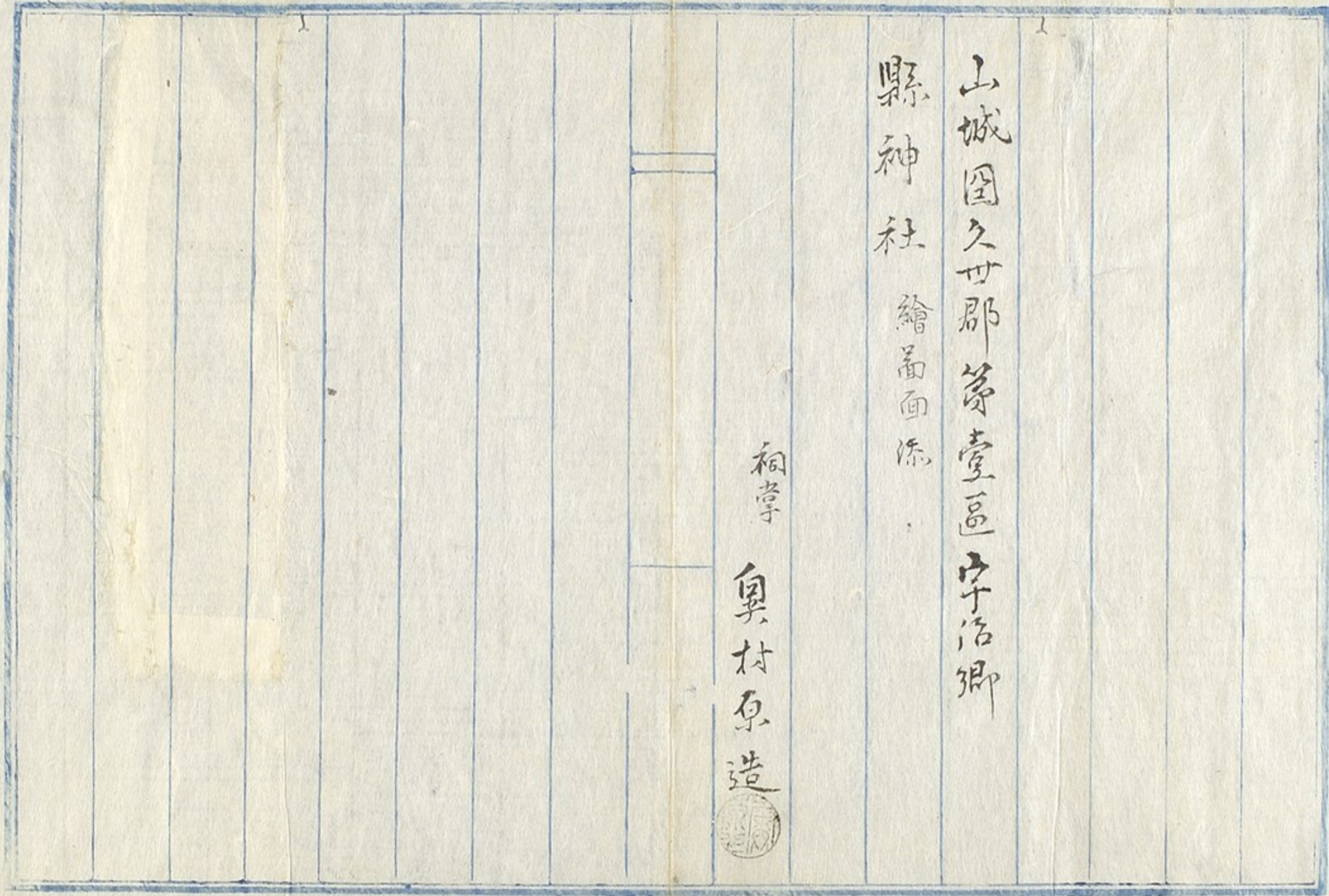
Red

Yellow

Green

Cyan

Blue



山城國久世郡茅臺區宇治郷
縣神社 繪圖面添

祠亭
奥村原造



京都府管下山城國久世郡第壹區宇治郷

鎮座 宇蓮花

縣社祭神 木花咲耶比咩

一由緒 別帝相記申上候

一勸請 年月不詳

一例祭日 五月五日大陽曆六月五日相改申候

一社殿建坪

本社 二十二步

拜殿 七坪半

神樂所 五坪

神供所 壹坪半

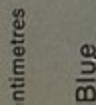
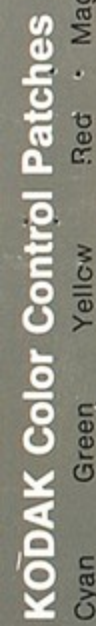
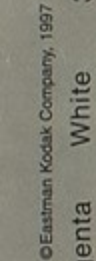
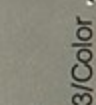
繪馬所 九坪

手洗所 三坪

休息所 七坪半

一舊境内 八町步

一現在境内 但從前之通廊座候



京都府權郡栗植村正直殿

右之通書遠云所歷心也

明治辛酉

縣社松澤園村系造

尹長入江熱上



自詠聽距離

四里餘

予五

世御座

社領朱黑印等各所座候



山城国久世郡宇治鎮座縣神社

祭神 木花咲耶比咩

當社を此宇治小鎮座時、も亦、
田社と稱し奉る所神の御名、
津姫之中と祭給り又の御名を鹿
姫より木花咲耶姫と申奉る吾田訓縣
亦通る候以て今此名に用ふ如
當時六月五日修行永承年中頼通公世
今に此神事怠まらず執行候程り
右者元文中書類之内有之此外
古書記等無御座候



Black

Blue

Cyan

Green

Yellow

Red

Magenta

White

3/Color



神名帳宇治彼方神社考説

神名帳宇治彼方神社 録

延喜式神名帳に彼方神社と云カタ又遠

江国英多神社云々と假名付しありこり

後人の推當小海等云々、英多神社の事

山城名勝志に彼方神社大馬寺村又彼方

東北今 彼方町 中見へあると云杜撰と云々に多

多説を云今里人大路方乙方などかけり神

名帳考證信友翁の書入本に馬本彼方をカタ

方と云に馬 英多をアカタと假名附したり

誤れり云 或を考ふに彼方神社の字より異所

ある橋邊のカタカタの字如き大路方の心る

多に彼神名帳に彼方と云し彼方の遠方の

心ありと云ふに此の字よりカタカタの字

用ひて興や多神社と傳附會して大馬寺村に

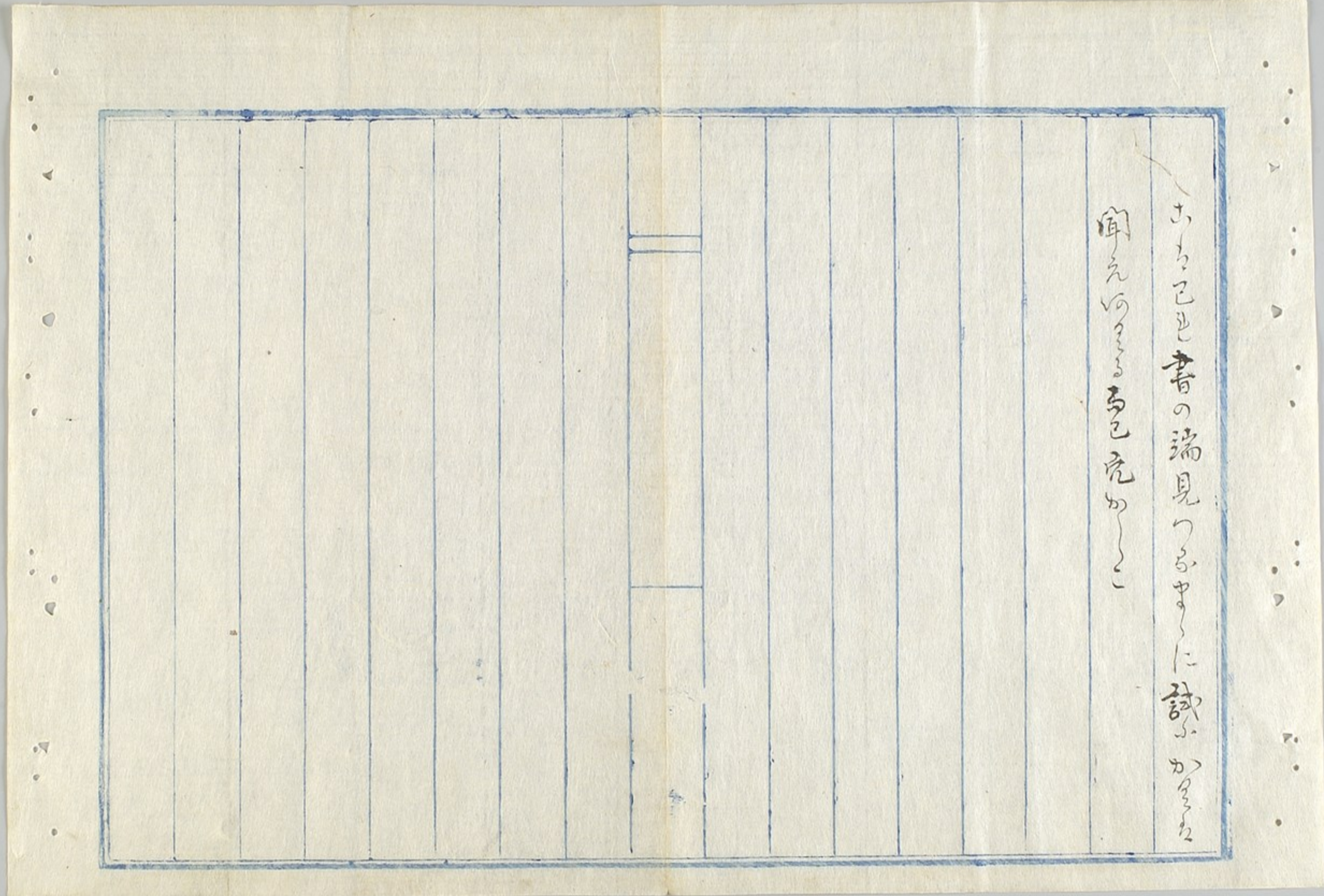
何れ又も推す卒の社を宇治橋の彼方神社なり

南の漫り年定免は物なりと推す卒の社に多神

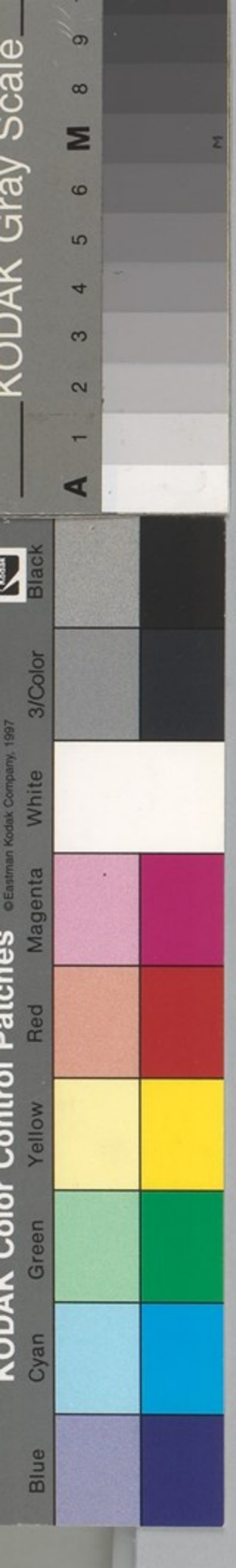
諏訪大明神と云り

我々もあまの信友翁の書入をたかたなり
讀む正しく家元神社小名傳の中へふ例と
考へたに祭る神の御名或は所り名をこゝま
神社小おと祭給ふと思ふ所りて諏訪神社
に彼方てぬ神社の御名ぬまゝにけり今
考ふるふ字治彼方神社も今此縣社を在
る大カタアカタ同く名けてオア〜とあ〜通
音ぬま柳宇治縣神社古傳に祭所の神を
御名も木花咲耶姫又乃御名も吾田津比咩
と申奉るゝし見えぬ古事紀曰於笠沙御
前遇美人云名神阿多都比賣亦名木花
之飯久夜毘賣古事記傳云阿多ハ地名和名
抄小薩摩國阿多郡阿多ハとある也又書
記不到於吾田長屋笠校之碕云名曰鹿葺
津姫亦名神吾田津姫亦名木花之開耶姫
此記をたかたなりおと祭る神社の御名純アカタハ

呼也圭田と見へあり此神社の御名も又乃御
 名よりおろせり名おとる代り此神の
 鎮座すしとる郷名おとる代り此神の
 へ代り彼方神社を又乃アカタノ御名
 とり神社り名におろせり代り此神の
 仍る今此宇治縣社なるは神名帳の彼方
 神社なるはとる代り此神の御名
 宇治彼方神社とある代り今此縣社を久世
 郡宇治の鎮座すしとる代り此神の御名
 けり代り此神の御名とる代り此神の御名
 彼方神社の久世郡の宇治なるは橋邊
 ヲナカメの名おとる代り此神の御名
 人の推當に宇治郡の内に書入しとる代り此神の御名
 書に此類ありとる代り今此久世郡の宇治と云
 所傳へ往昔ハ宇治郡なるはを後ハ久世
 郡に附しとる代り此神の御名とる代り此神の御名



あまのこしき書の端見りあまのこしきに誠にかゝる
あまのこしき



縣
神
社



宇治郡式内ノ十座

山科神社考證 西野山村大宅村岩屋神社上申書繪
因及勸修寺村宮治明神上申書繪

ヲ後
ニ附

山科神社二座並大月次新嘗

山科ハ也末之奈卜訓スヘシ 和名抄御名部
山科假字同上 ○祭神木花

咲耶比咩 惣國風土記殘缺云山科神社主田四十五束
祭木花咲耶比咩也 持統天皇二年戊子三月

始奉主田修祭事祭礼
之時以櫻花鼓苗也 一座不詳 技束略記裡書延長六年
十一月十九日庚辰有内

印山階大神奉 ○或云宮道氏祖神 公事根源云ユノ社ハ
宮道氏ノ祖神也按ス

ルニ或人旧事記ニ雅武王宮道君祖トアルヲ引テ當
社祭神ヲ雅武王欽ト云リ此王ヲ祖神ト云ルハ如何 ○

在所同郡茅寺區西山村大宅村岩屋神社共ニ山科神社

京都府

ナリト云フ ○或云同郡同區勸修寺村宮治明神是ナリ

山城志云在勸修寺村称宮道明神又曰二所神藤原光經
家和歌集曰宮道神再讀天奉里志歌之中再毋羅須奈餘

哉古寺再契安留宮
道之神乃廣惠再

按スルニ惣國風土記殘缺ニ當社祭神ヲ木花咲耶比

咩ト云ヒ 持統天皇二年戊子三月始奉主田修祭事

トアルヲミレハ宮道氏ノ祖神ニ非ス若是宮道氏ノ

祖神ナルヤ勸修寺村ノ宮道明神ハ則其社ナルヘシ

今考ヘ定メ難シ

祭祀

式十五 内藏 山科祭云々使等装束云々右复四月冬十一



京都府

月並上巳祭之預前裏備幣物使等進發同四十八九馬 山科等社夏冬祭走馬十足其他屬一人率馬醫騎士馬部

等供奉 ○諸社根元記云新國史云延喜十一年正月六日

宣旨山科神二前依宮道氏人内藏少允官道良連

等去年八月七日解初付官帳四度幣你件氏神依去寛平

十年三月七日奉勅之宣旨初預享公家春秋祭祀又預四



京都有管下成國宇治郡茅土區西野山村

鎮座 山名岩ヶ谷

山科神社

祭神 日本武尊 二前
稚武王

旅所二之宮

祭神 倉稻魂神 二前
春日大明神

由緒別紙、相認書記仕及旧神官系家略記云

一 勧請 寛平九年九月

宇治郡茅土區

一 例 祭日 九月九日

但 一月十日 四月初巳
二月二十日 十月上亥 四年度 祭日

一 社殿 建坪 拾六坪

未社建坪

住吉社 建坪 四合五文

市村島津社 建坪 二合五文

天満宮社 建坪 五合五文

春日社 建坪 壹坪

倉稻魂神社 建坪 貳拾九丁五

山王社
姓五尊
身深考身津祖社 相殿建坪 八拾七丁五

假殿 建坪 壹坪

拜殿 建坪 五坪

神樂庫 建坪 五坪

旅所
之宮社 建坪 壹坪

本社境内 九九及步余 除地

旧境内東西八十七間南北九十三間此坪八十一。九十壹坪

旅所之宮境内 九卷畝土步除地

旧境東西二十六間 南北八拾壹間此坪貳千百。六坪

宇治郡第壹區

一 旧社領 貳百拾貳石半 長今壹千壹

一 氏子戸教 貳百拾五戸

七拾戸
拾五戸
百三拾戸
當村
栗栖野村
東野西村

一 自該廳距離 五拾五丁半

右之通相遠 每所座更以上

右社祠堂

進藤備盛

明治六年七月





Black

3/Color

White

KODAK Color Control Patches

©Eastman Kodak Company, 1997

White

Magenta

Red

Yellow

Green

Cyan

Blue

centimetres



山科神社5 4-6 L03085

宇治郡第壹區

参事 榎村正直代理
京都府権参事國重正文殿

加納作兵衛
右村長



山城國宇治郡荒區西野山村
山科神社由緒 并 神官家系畧記

一 祭神 日本武尊稚武王二座相殿 並 當社者

宇多天皇之御造宮之ニテ所也當山科神社者百未山科一宮共
号之則右二座之 御木像ヲ勸請奉ル也稚武王ハ人皇十二代
景行天皇之御孫 日本武尊之御子

仲哀天皇之御弟ニテ宮道ニ祖神也即日本記宮道君ノ
祖有之也寬平九年始テ爰ニ鎮座成ニ奉ル給フ日本武尊ハ
御父ニテス故ニ相殿奉祭也其後神名帳曰山城國宇治郡

山科神社二座又新國史ニモイフ延喜十年山科神社二前
依宮道氏内藏少允宮道良連ノ解付官帳四度幣ヲ云々

寬平御時初テ祭給フ由縁ハ大領宮道弥益トイヘル

醍醐天皇之御外殿ナレ也初ニ藤原大臣高藤公イマダ若公達
タル時栗栖野ニ狩ニテ不圖弥益家ニ宿ル給ヒ其銀見アイシケルニ
契リニ有ケト一夜姪ニテ生ル給ヘル方ニナグ後ニ

宇多天皇之皇后ニ祭ル給ヒ

醍醐天皇、ウミ奉ル給フ夫、弥益、家所ハ今、大宅村ニテ、弥益ニ神

イワニ給ヒテ其社ハ勸修寺村アリ事ハ古記トモ詳ナレハ爰其
要ヲ奉候也

一山科神社其 神跡ヲ奉諱リテ古來巖屋大明神ト唱ヘ候ハ其ハ
山名岩谷ニ候外何レノ比ヨリ岩屋ト書キ来リ則從往古

朝廷ヨリ御寄附之社領ハ貳百拾貳石斗有之其旧證ハ古シ乱世
燒失候ハ凡今尚神官家相傳候近古之書物中ニ左ノ如ク

千前夫役之事西山為神主者向後令免除者也悉々諱言

進藤伊豫守殿

印月十日

村井長門守

貞勝判

山科西山岩屋依為神主夫役諸事令免除者也依テ後日

之伏拜

進藤又十郎殿慶長元年五月

徳善院判

丹別多喜園田村之取五拾貳石斗扶助令知行者也

進藤新右衛門殿慶長元年八月九日

玄以判

丹別多喜郡宮代村六拾石遣シ令知行者也

進藤新右衛門殿慶長六十月十日

玄以判

當郷西山石屋依為神主夫役諸事等之儀如先例免除不可

為相遣之伏如件

慶長十三年三月十九日
進藤又十郎殿

勝重判

右之外當西之山村領之内百石余神領有之今其田字

神田ト申候分皆當社領候ハ凡旧幕府初代之比御朱印

改ノ節古来

朝廷ヨリ御寄附領寸御改受ニ奉候ニ及ハ相心得關東下

石申候ヨリ終ニ社領都合貳百拾二石八斗相失ト御年貢地ト

相裁候也此ニ往古ヨリ別ニ

禁中ヨリ為御供米壹石半老明治二己年迄年々不闕被下候

往古ヨリ

御寶祚長久天下泰平ニ穀成乾災害消滅之祈禱奉行

其御神札例年九月廿八日前後執奏家芝山殿ヨリ奉伺上候上

神官奏者所迄御神札持參シ奉リ奉獻上不闕仕候迄来

執奏被齎ヨリ神祇官御伺之上御添筒ヲ頂戴仕右奏者

所ニ罷上リ奉獻仕則往古ヨリ別ニ御銀壹枚毎年土月右執奏

家ヨリ御沙汰奉兼候上神官奏者所迄罷上リ頂戴仕来候如

明治元辰年己未神祇官ニ御伺候上御金三百匹宛奉頂戴候

往古ヨリ菊御紋附御批灯御寄附ヲ以平日御神前ニ張

神事、節用并殿、四張頂戴仕末候外、近年左奉、右
批灯不奉懸候

一 山科神社旅所ニ、宮祭神倉稻魂神春日大明神、相殿

醍醐天皇御造宮ニ、之所也、往古ハ宮造相応太候外、中

古乱世焼失ニ、今ノ形、仕末候延喜三年癸亥年

醍醐天皇行幸之御時、倉稻魂神影會ニ、因テ御誓約事アリ

故ニ宮御造宮アリ給フ扱告多ク神詠アリ

あつちまて光やりのそめのふくろひをい川此より大

後ニ至リ春日大明神ヲ合セ祭リ給フ因テニ座ト相成候也

右神社由緒書中古乱世焼失之残、神官所藏之記ヲ写ニ取リ、

今迄之趣奉別録候段相違無御座候以上

一 舊神官家系略 天兒屋根命ニ、世孫小徳冠御食子卿

長子大藏冠鎌足公之子正一位右大臣不比等公ニ、二世進孫

與三左衛門尉基盛天喜三年山科之里居住其後寛治七年

基盛之子季平 勅命為當社神主叙後女位下和泉守右

神官初代基盛ヨリ當神官進孫備盛迄ニ、世不闕相續仕候

其間ノ位階者正五位上從四位下等任官者三濱權守雅樂頭
 河内守如賀守兵庫助伊豫守備後守筑後守等後凡
 往古乱世中ハ多ク無官ニテ近代ニ芝山殿ヨリ官位中興可成由儀
 一此費ノ恐レ國名等呼名ヲ以相續致末候委細ノ所載
 系圖ニ有之候以上

宇治郡茅區西野山村
 山科神社祠掌

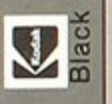
明治年七月

進藤備盛



参事模村正直代理
 京都府權参事國重正文殿

KODAK Gray Scale



3/Color

White

Red

Yellow

Green

Cyan

Blue

KODAK Color Control Patches

centimetres



山科神社10 4-6 L03090

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10



山科神社

宇治郡第壹區西野山村

山

南

東

参事模村正直代理
 京都府權参事國重正久殿



京都府管下山城國宇治郡芳吉區大宅村

鎮座 宇岩屋殿麓

岩屋神社 式内

祭神

天忍穗耳命

栲幡千千比賣命

饒速日命

一由緒社記云天忍穗耳命栲幡千千比賣命

宇治郡第壹區

二神降臨ノ舊趾ハ本社背ノ山上ニ大巖石ニ基

アリ岩屋神號之ニ因テ起レリ巖石ノ傍ニ小社アリ

是當社ノ撰社大宅首ノ祖神饒速日命ヲ祭レリ

故ニ本社ニハ此三神ヲ齋祭奉レリ

後嵯峨天皇寬元元年四月左京大夫從四位下

藤原經明書スル所ノ額ニ從正一位上岩屋大明神

ト記古額アリ今神庫ニ收ム

一由緒 舊神官家系ヲモ略記附載スヘシ

姓氏錄左京
神別ノ知大宅
首大開撫祿
命孫建新川
命之後也

KODAK Gray Scale

Black

3/Color

White

Magenta

Red

Yellow

Green

Cyan

Blue

metres

延喜式云山城國宇治郡山科神社二座

并大月次新嘗

○神名帳考云新國史諸社振元記引云延喜十一年正月六日宣旨山科神二前右依官道氏人内藏少名官道良連等本年八月七日解初付官帳四度幣依伴氏神依云寬平十年三月七日奉勅之宣旨初預享公家春秋祭礼又預四度官幣今在勸修寺村稱兩社大明神○山科大宅村ノ東ニ在リ岩屋大明神ト云フ土人生土人トス例祭九月十六日○和名

宇治郡第壹區

抄云山科

也未之奈

○公事振元云山科祭四月上巳日

此社ハ官道氏ノ祖神也寬平十二年トリ祭モハ

シヨリ○此新國史ノ本朝月令ニ太政官符全文

アリテ官帳ニ附ラレタリ其文初丁ノ才未行ニ入夕

リ○山城風土記云山科神社圭田四十五束所祭木

花咲那比咩神也持統天皇二年戊子三月始奉

圭田修祭事祭祀之時以櫻花鼓笛

以下與熊ノ

○扶桑略記云延長六年十二月奉授山科大神

正四位下△在勸修寺称官道明神又曰二所

神藤原光経家之和歌集云官道神讀天奉

里志歌之中尔一母羅須奈余我古寺尔契安留

官道神乃廣紀惠尔神名帳云ヨリ是迄神名帳云ミヨリ○本朝

神社考云山科此社者官道氏ノ祖神也寛平十一

年始祭之四月上巳日也俗傳官道氏ノ先出自守

屋大臣其後世居攝州蜷河者又冒蜷河姓鹿苑

院母月海夫人是蜷河之族也姓氏錄左京神別上祇物部石上同祖○石上朝臣

宇治郡第壹區

神鏡速日命之後也。舊事記鏡速日命兒宇麻志麻治命

云云七世孫建誓心大称命伊香色雄命子也安毛建美命

大新川命纏向珠城宮御宇天皇御世賜物部連公姓彦十千

根命同御世賜物部連公姓○日本書記雄略天皇卷云物部連

目爲大連同天武天皇卷物部連賜姓曰朝臣○續日本記云室

龜十一年十月勅中納言從三位物部朝臣宅嗣里改物部

賜石上朝臣姓氏錄左京神別○拾玖抄諸社ノ處ニ山

石上朝臣神鏡速日命之後也

科トアリ○山列名跡志大宅村ノ處ニ岩屋明神社

在同所東山下一鳥居南向石柱在街道東方額

正一位石屋大明神堅額新筆百古額收社中社

西向所祭社記未詳同社南北ニ小祠アリ北山王

南
八幡土人爲産沙神例祭九月九日神輿三基
アリ祭日遷幸ノ旅所大塚村路傍ノ西ニアリ○
都名所圖繪拾遺云巖屋明神社山科大宅村の
いしあり祭神宮道祖神西の山と同神なり
神祇式云山科神社二座土人産土神とて例祭
九月十六日神輿三基

一神官家系ノ儀往古陶原家末孫澤野井家
代々神勤仕候中興元録年中ヨリ別當職ヲ置キ

宇治郡第壹區

社事執行候得共年々社事祭禮御湯式日等
ニハ神官神勤仕り来ノ候處今般御一新別當ノ
僧侶廢セラレ從前之通澤野井家ヲ以テ神勤仕度奉願
候處御聞届ニ相成更ニ往古ニ復シ神勤仕候

一勸請年月

未詳本社再興ハ弘長二年癸亥三月初二日
文政年中御屋根再興之節古鬼板ニ岩屋宮ノ
初ヨリ當年文政六年マテ千四百八十一年ニ相成ル

趣書記コレアリ今神庫ニ收ム文政六年ヨリ明治

八年マテ五十二年合テ一千五百三十三年也

一例祭日

四月上巳日
十一月上巳日

但新曆相用来候

九月九日

但旧曆相用来候

一社殿建坪

本社 拾貳坪六分

末社建坪

宇治郡第壹區

伊勢兩大神宮

間奥行六尺
口五尺

此坪八分

祭神

天照皇大御神

豊受比賣命

八幡宮社

貳坪

祭神

應神天皇

山王宮
天満宮
住吉宮

相殿

三坪三分

山王社

祭神

大名牟遲神

天満宮社

祭神

菅原道實朝臣命

住吉社

祭神

底筒男之神

中筒男之神

上筒男之神

宇治郡第壹區

蛭子社

奥行六尺
間口五尺

此坪八分

祭神

積羽八重事代主神

外^二建物^一建坪

拜殿

拾八坪三分

御供所

拾坪九分

神輿藏

拾五坪七分

神用土藏

五坪

手洗所

奥行四尺八寸
間口六尺

此坪八分

一 現在境内 及別貳反壹畝步

一 舊境内 及別五反八步

一 舊社領 無御座候

但御供料トシテ毎年米三石宛

朝廷ヨリ下賜ニ相成候處現今下賜無之候

一 氏字戸數 三百六十三戸

内

宇治郡第壹區

八十七戸 居村=御座候

五十七戸 同郡同區大塚村

四十六戸 同郡同區栴辻村

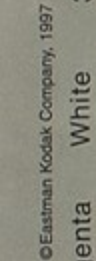
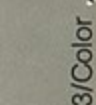
九十六戸 同郡同區御陵村

二十三戸 同郡同區厨子奥村

五十四戸 同郡同區日岡村

一 自該廳距離

京都府ヨリ 貳里半余



京都府権知事榎村正直殿

宇治郡第壹區

阿口源造



右區々長

竹本勘右衛門



右村戸長

澤野井道経



右社祠官

明治八年十月

右之通御座候以上



岩屋神社

宇治郡茅壹區大宅村



京都府権知事旗村正直殿



岩屋神社 4-15 C03015



Black

3/Color

White

Magenta

Red

Yellow

Green

Cyan

Blue

神社取調書

山城國宇治郡第壹區勸修寺村

八幡宮祠堂于兼山科神社祠堂

松山秀雄

京都府管下山城國宇治郡第壹區勸修寺村

鎮上座字明神山

一山科神社四座

祭神是武尊推武王宮道列子孫益

一由緒

一二所明神二社明神又号宮道明神

一當社者延喜云所謂山科神社是也

一醍醐天皇外祖母贈正位宮道朝臣列子之祖神

也乃贈太政大臣高藤公後裔勸修寺七家之為氏神

一神階記曰嘉祥四年正月廿七日山科神二前進從

五位下本位正六位上諸社根元記下引新國史曰延喜十二年

正月六日宣旨山科神二前右者依宮道氏人內藏少允

宮道良連等去年八月七日解初升官帳四度幣帛

件氏神依去寬平十年二月奉勅宣旨初預祈年祭

享公家春秋祭礼又四度官幣

一元慶以前預祈年祭國幣列小社延喜十年預四

度官幣祈年一度月次二度新嘗一度列大社

宮道明神敷地二十六坪与一町

見保元三年九月十日注進勸修寺田畠荒野野國檢注坪付帳今考

文祿三年至豐臣長秀吉公筑於城伏見殿靈址埋名池東園通衢上人於是地勢志異于古也

一延喜式拾五卷内藏寮管布云山科祭五色絶各三尺安藝

木綿四枚膠布一端厚半枚付水一枚已上物忌料緋綾二

尺赤綾四尺赤紫給三尺此糸系四約西面九尺寺神主

料生絹一疋緋絹三丈五尺綿十疋糸一約調布二端

已上使儲五色絶各三尺緋油絹五尺安藝木綿油枚

調布一端付水一枚已上使等將束寮属一人當色一

具祿綿十疋已上生絹三疋調布六疋膠布六端舍人

長當色一具生絹一疋調布二疋膠布一端賈幣仕丁

一人交易高布一段已上

右復四月冬十一月並上已祭之預前果表備幣物使等

進發延喜式水工寮云著幣帛木廿六枚長各八尺方一尺寸

四枚賀茂下上祭料各二枚二枚松尾四枚

春日四枚率川二枚大原野四枚大神二枚山科

同左馬寮云、凡宗社本山科等社、其冬祭走馬十疋、其使屬一人、率馬毆回騎士馬部等供奉

一勅額ハ

一後西院帝震翰也

一延宝七年正月廿二日勸修寺七家氏人社殿為造管所捧之祝詞者、乃納南之宝殿

右所載号山科祭者、宝道二所大明神、其冬祭也不知為其廢何代哉、考之所以廢八幡宮祭禮者、文明二年罹兵災

宮殿為焦土哉、其後天下乱、久神領亡失者不鮮、至大永

二年天文祭禮為断絶哉、以是見之、氏族四方離散、故大

明神祭祀自此時為廢亡哉、可惜罹文明兵火不傳

旧記不其詳、至今山科祭日者、四月十日獻神供、並上巳日雖

早者必献之、不失古遺風而已

一八幡宮神官松山家代々兼勤

一勸請年月 不詳

一例祭日 四月十一日並上巳 但、旧曆也、曆多

榎村正直殿

京都府権知事

區長 阿口源造

右村戶長 小滝市左衛門

秋山秀雄

明治八年十一月

八幡宮祠堂兼山科神社祠堂

宇治郡第壹區勸修寺村

右之通河二階後以上

以上

一自該廳迄離

河府今當社迄貳里拾貳丁

一氏子

無河産多

一旧社領

朱黒下木無河産

一境内反別

八畝貳步

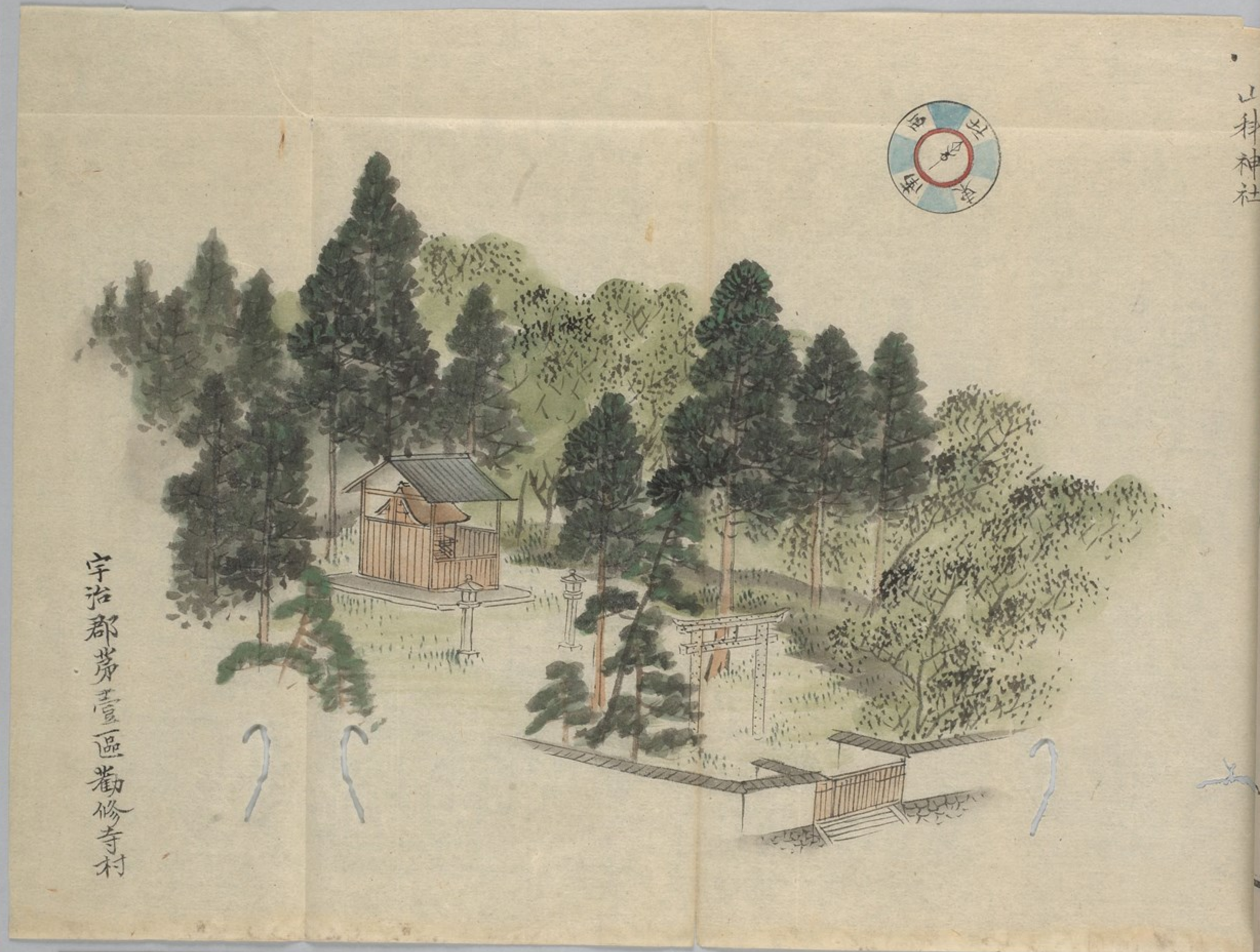
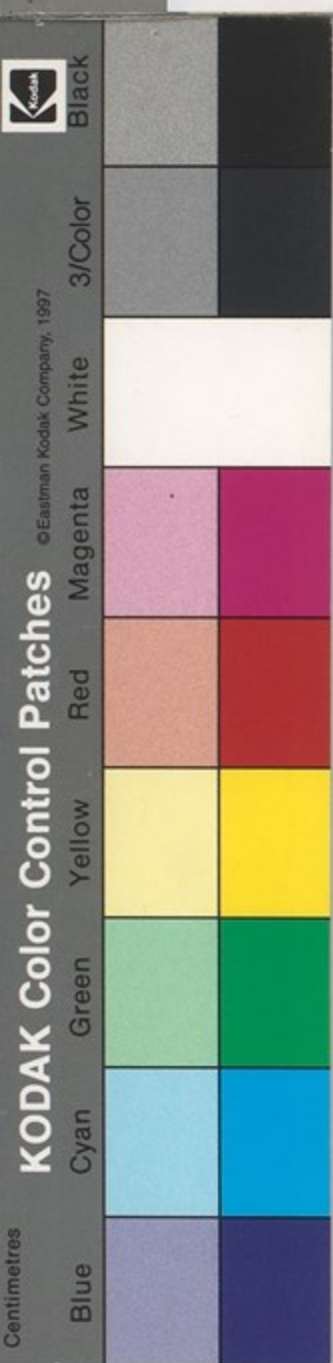
但從前之德河産多

一社殿建坪

貳坪



KODAK Gray Scale
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9



宇治郡芳壹區勸修寺村



山科神社

京都府推知事
植村正直殿



山科神社 4-16 C03016

二下大明神之事

二下大明神之事

公事根源抄

山科祭 四月上巳日

之や一紙官道氏此

祖神之寛平十年より

祭はよりし

十一月上巳日

四月に在り

権中納言経度考

太勸修寺中納言殿公承強之

法智僧正承愿